京城日報
八日夕刊
發行兼編輯人 副島道正 印刷人 小川三之介 發行所 京城府大和町一丁目 京城日報社

伊國政局の危機迫る
首相の畫策はまだ實現せぬ 怎麼にして安定せしむるか

【羅馬五日發電】國粹首相ムツソリーニ氏が聲明した時局安定の最後の時期四十八時間は五日を以つて盡きんとしてゐるが只今迄のところムツソリーニ首相は單に威嚇を續けたばかりで何等明確なる行動を採つてゐない反對派は依然として反對派新聞紙の停止を斷行し民兵の動員を行つて憲政を壓倒しファシスト黨員は所々に示威運動を行つてゐる然し形勢は今や最も重大なる危險の時期であると信ぜられてゐる

斷乎たる措置に
出で政局安定を圖る ムツソリニ首相の演説

【羅馬四日發電】首相ムツソリニ氏が三日下院で試みた演説中に伊太利の秩序を維持し刻下の動搖せる政局を安定せしむる爲め近く斷乎たる處置に出づべしと暗示した事は既報の通りであるが其際首相の仄めかした「斷乎たる方策」なるものは漸々實行されつゝあり、傳ふる所に依れば國內の過激分子は擾亂を目論んで國內を混亂に陷れんと企て既に暴力に訴へ、政府の計畫實行に着手したとの事で政府は之に備ふる爲め警察の守備に當るファシスト義勇兵の動員を命じ且つ全國各地の知事に命じて主要なる危險分子の住宅に家宅捜索を行はしめ若し何れかの政治團體にして國利民福に背く不逞の行動ある場合は容赦なく之れに解散を命ずる訓令し同時に知事は秩序を維持する爲め警察及憲兵隊を援助するの必要ある場合には自らファシスト義勇兵を動員し得る權限をも附與された當局の之等の諸方策は反對黨新聞に對する官公吏等の存續と相俟つて充分反對黨首領連の勢力を削ぐ上に有效であらうと信じてゐる模樣である

ムツソリニ首相

警備を嚴重にして獨逸議會開かる
新閣員顔觸は舊內閣と同樣か

【伯林五日發電】獨逸聯邦議會は共產黨議員の惡罵喧囂裡に五日開會された多數の警官及兵士は議院の周圍を圍み共產黨員の危險なる示威運動に備へてゐるマルクス首相は新內閣々員詮衡につき數日を要したるは明かにて新內閣顔觸は大體舊內閣と同樣であらうと觀測されてゐる

佛獨通商交涉
【ボルドウ五日發電】佛國通商交涉會議に就き佛國新聞は何れも一月十日以前に條約締結は不可能であらうと報じてゐる目下兩國專門家は協約案を審議し獨逸委員は之が可否を伯林へ電議した

聯合財政會議
米國出席代表
【ボルドウ無線五日發】駐英米國大使ケロツグ氏駐佛米大使へリツク氏及ローガン大佐は七日から開催の聯合國財政會議に米國を代表して出席する筈

アルバニア政府
近く樹立する
【ボルドー無線五日發】アルバニア政府は一月十二日迄にチラナに於て樹立さるべく次で總選擧が行はるゝ筈である

普魯西も
聯合內閣か
【ナウエン無電五日帝通經由】普魯西政府に於ても聯邦政府と同樣の危機に瀕して居るが之も亦中央民主人民に國權黨を加へた聯立內閣に落付くであらう

農民黨は解散
チエツクスラバキア政府が命令を發した
【ベルグラアド三日發電】政府は本日突然命令を發布してクロアチヤ農民黨に解散を命じたが右に關し內務大臣は訪問の新聞記者團に對しクロアチヤ農民黨首領ラデツチ氏は目下海外旅行中であると云ひ影響を防止するの手段に過ぎないと

列車襲擊事件解決
【北京六日發電】天津附近列車襲擊事件は一時外人間の神經をいらだゝしめたが李景林氏の迅速なる措置は之れを緩和するに充分で四日損害金一萬元（米國人の分は四千五百元）を交換ひ又今後各列車には二十名の護衞兵を乘せしむる事となつた此の措置に對し北京外交團は滿足の態度である

新白衞軍
帝政派で計畫
【ユンヘン五日發電】露國ニコラス大公を推戴する帝政派亡命者の一派は新白衞軍を組織し勞農露國に遠征を試さんと計畫中であるとの報あり新白衞軍の此計畫が若し成功の曉はウクライナを波蘭に割讓する約束の下に波蘭の援助を期待してゐると

駐露佛大使著任期
【莫斯科四日發電】駐露佛國大使ジェーンエルベツト氏は一週間以內に著任すべく期待さる

松江戰況
一段落を告ぐ
【上海五日發電】松江陷落後の此方面の戰爭は一段落を告げ張樂山軍は暫く事に集められてゐるが盧氏の南京着を待ちて新な行動に出る

張作霖氏天津發
【天津四日發電】張作霖氏は南京問題も一段落を告げたので五日頃北京に至り孫傳芳氏等と連絡を採り馮々畫策してゐると云ふ

宣統帝慰問
各國公使夫妻
【北京五日發電】米、佛、白、各國公使夫妻は三日日本公使館に避難中の宣統廢帝御夫妻を訪問して叮嚀なる慰問の辭を述べた

伊國電檢嚴重
【倫敦五日發電】羅馬からの電報は最近に至り頗る少くなつたが、これ伊太利に於ける電報の檢閲が最も嚴重になつた爲めと信ぜらる

答禮使の隨員
決つた顔觸
【東京電報】佛國印度支那答禮使山縣伊三郎公の隨員中既に決定したものは印度總督府事務官一郎、松木幹一郎、加藤恭平、江田定三郎の四氏で佛國專家側よりは藤山雷太氏外二、三氏が同行すると

首相藤子會見
上院問題懇談
【東京電報】加藤首相は四日後藤子のもとに使者として某氏を派したが右は上院改革問題に關し後藤系分子の懷柔策を依賴するものに相違なきのみならず後藤子と膝を交へて上院問題につき商談するの機會を得度いといふ點から一夕の會見を申込んだ由で後藤子も之を快諾したそうであるから不日加藤首相と後藤子は會見することにならうと

成否の分岐點
日露會議續開さる
【北京五日發電】日露會議は六日午後四時から繼續に決したが撤兵問題は勿論石油利權のバーセンテージ石炭地域及西伯利に於て尼港類似の事件は行はれてゐたことは後日證據立てられた場合日本は遺憾の意を表すべく露國側の要求拒否等日本側最後の妥協案中討議未了の各項に對しカラハン氏の決答芳澤公使の聰明あるべく交涉成否の分岐點として重要視されてゐる

本黨が提案せんとする教育費增額要求は
憲法を破壞するものである
【東京六日發電】政友本黨は五十議會の劈頭に於て義務教育費國庫負擔額二千萬圓增額の法律案を提案するに至つたが之に對する政府の態度として二、三閣僚の意見を綜合するに之は政府の有する豫算發案權を侵害し且議會閲覽述を破壞するものであるとの見解を以てゐる、その見解の大要は先年十五議會の古社寺保存費を法律案を以て要求した場合も議論があつたので、ある、即ち帝國豫算の發案權は政府に在る、貴衆兩院は之を修正又は削除をなし得るも增額又に新規費目の要求は法律案を以ては爲し得ない事になつてゐる、若しこれを認むべくは法律案の名目の下にいかなる增額をも企て得る結果となるから政府として大體の目的は議會の議決を經て後之を確定するものであると云ふのでこれ等の點から見ても法律案の形式を以てする增額要求は憲法の精神に背反するものであるから、政府は一應の意見の申入れをなす事となるであらう

旱害救濟によつて免除する地稅額
總額五十四萬六千餘圓 第一期から直ちに實行

來年度の租稅收入に就ては約一千萬圓の收入減は免れまいと云ふので、行政財政整理によりこれが收入減を補ふべく、來年度豫算が編成されて居るが。

此時に於て 朝鮮は近年稀に見る旱害を蒙り租稅免除をなさねばならぬ事になつた。右は其當時既に報道した所であるが今其内容に就て聽くに旱害による免稅額は總額五十四萬六千餘圓であつてこれを各道別に擧ぐれば左の如くである。

京畿道	二萬餘圓
忠清北道	三千餘圓
忠清南道	八萬三千餘圓
全羅北道	二十萬一千餘圓
全羅南道	八萬餘圓
慶尙北道	五萬五千餘圓
慶尙南道	一萬二千餘圓
黃海道	六萬五千餘圓
平安南道	一萬五千餘圓
平安北道	一千餘圓
江原道	六百餘圓
咸鏡南道	二百餘圓
咸鏡北道	二千餘圓

而して此の免稅は地稅に及ぼすことは勿論であるが、十二月中に納付すべき第一期地稅より直にこれを實行されて居るのである。

これだけの免稅を行つたが他の地稅の徵收成績に就ては、これだけの旱害の年だけに

非常に心配 されて居るが、當局者の語る所によれば、幸ひに本年は米價が相當に高い關係で未だ滯納は餘り無い位で、徵收成績は概して好いのである。併し納期に際して人事の異動が行はれた爲め、或は幾分手違ひを生じた所もあるかも知れぬが、これとて大なる影響はあるまいから別に心配する程の必要もないかと思つて居ると。

侍從御差遣
國境守備視察
朝鮮國境守備隊（恙兵隊を含む）及軍隊、部隊狀況視察として侍從武官御差遣の御沙汰が、あつたが、同官は一月十七日午前京城著の豫定であると

齋藤總督東上
來る九日出發
齋藤總督は來る九日夫人同伴にて東京へ出發して約一ヶ月半東京に滯在の豫定であると。出發時間は未定

政務總監出發期
來る十四五日頃
下岡總監は小濱秘書官等を帶同來る十四、五日頃東上議會に出席する筈。

兩師團長出發
十三日より東京に於て開かるべき師團長會議出席の爲め引田第二十師團長は五日午前十時龍山發東上第十九師團長は八日午前京城通過上京の筈

觀兵式豫行演習
十四日龍山練兵場に於て觀兵式豫行演習は六日午前十時より代々木練兵場にて近衞第一、兩師團約一萬人にて行はれた（東京電報）

京畿桑園反別
最近開發に係る京畿道管內の桑園反別を見るに既設純桑園の反別千百九町散七反此の合計二千四百九十四町七反にして大正十三年中に植栽し新設した純桑園百四町六反散植桑園見積反別八十八町六反を加ふる時は合計純桑園反別千二百十三町六反、散植桑園千四百六十四町三反總計二千六百七十七町九反に達し外に山桑を利用し得べき見込反別百七十町にして桑樹の仕立方は立通桑田最も多く根刈桑田之に次ぎ高刈、中刈のものは少き狀況に在ると

日豐兩製粉合併說
條件次第では成立可能

豐國製粉の燒失と共に滿洲製粉の朝鮮進出となり日本製粉又は相當近く仁川附近に工場を設置すべきは既報の通りであるが日本製粉會社では大株主たる鈴木商店京城支店が從來豐國製粉製品の一手販賣を取扱つゝあつた關係上工場設計畫を回つると同時に兩粉との協調を保つ意味に於て鮮製粉と又一方豐國製粉との間に協調中であるが豐國製粉側では罹災以來鮮粉の復活を企圖りつゝある折柄とて果して調談成立するかどうかは頗る興味ある問題であるが併し從來の關係及び四圍の事情より見て條件如何に依り或は合併可能とも見られてゐる、因に日本製粉進出の計畫は目下鮮內に於ける麥粉の需給關係から見て一部分を鮮內に供給し大部分は目下上海方面より南滿洲に移入されつゝある所謂支那粉の抵抗を試む方針であると云ふ

齋藤久太郎氏談 鮮內麥粉の需給關係並に工業的興の意味から見て這般製粉會社等の分工場が設立されることは至極時代は適應したことである本製粉會社に對して豐國に力を注ぎ運ぐとも七月迄には操業開始の豫定であるが日本製粉側では徒に同業競爭の弊を避ける意味から從來當社並に鈴木商店との關係上日粉對當社との合併內交涉はあつたが未だ具體案に就て何等條件の提示方如何に依つては再考すべく回答して置いたが本交涉の開始までには尙ほ幾回の曲折を要するであらう

日粉新設工場
設計の內容
日本製粉會社の朝鮮工場設計は最近漸く具體化し愈本事務の進捗に依つて日下仁川坩場地を買收交涉中で近く成立する筈であるが今その內容に就いて聞く所に依れば該工場の規模は百萬圓を投じて約四千坪を買收し同社横濱工場と同型の無機突吸揚式の六階建を擁する龐大なる建物に一千バーレーの機械を据付け一年に百二十萬袋の生產能力を發揮する計畫であつて製品は主として明治三十年以來既に優秀なる販路を有する緑ダイヤを首位とし此の他ビーナス、サンダー等をも產出のト朝鮮西岸一帶より支那安東縣に到る各地に供給し內地廣司工場と相連絡して需要に備へんとしてゐるから同社完成の上は一大製粉所開始されるのは必定で同社製品が緑ダイヤで

鮮鐵が直營になつても鮮滿連絡に變りなし
今後滿鐵と協定を遂げる

弓削鐵道部長は昨冬二十六日出發大連に赴き滿鐵の大倉松岡兩理事、藤根鐵道部長及び同部各課長等と會見し直營後の鮮滿連絡問題に付き打合を了したる後長春方面を視察して三日夜歸城したが打合の結果に就き語る

今回大連に 赴いた主要なる目的は朝鮮線直營後に於ても現在の通り釜山奉天間の旅客列車を直通し又滿洲朝鮮兩鐵道の連絡統一の直通を行ふは勿論事情の許す限り將來一層滿鮮兩鐵道の連絡統一を密接ならしめたいと云ふ事を打合する爲であつたが其の連絡方法に就き細々具體的な大綱の協議を了して來た、今後此の大綱に 基き鮮鐵滿鐵兩者の關係員が細目の協定を遂げる筈であるが大綱協定に對する鐵道側兩者の態度は從來の通り勿論鮮滿間の兩線連絡を行ふのが有利であると云ふ根本的意見より將來は一層圓滑なる連絡を保持すべしと云ふ意見であつたので一瞬の議も無く圓滿に協定を遂げる事が出來た次第である。要するに直營後の

鮮滿連絡は 客貨物共に啻に現在通り連絡を保ち得るのみならず時勢の進運に伴ふ樣に滿洲側鐵道の現狀に比し何等の變り無く運營委託經營の現狀に比し何等の變りなき見込みなのみならず時勢の進運に伴ふ樣に滿洲側鐵道と協定を遂げて一層便宜なる連絡を期したいと云ふ事になつたのである

歲入減をどう補塡する？
京城學校組合の豫算
京城府では目下大正十四年度學校組合豫算を編成中であるが財界不況に伴ふ豫算家賃の收入減に依り同組合歲入の主要財源なる組合費五十七萬圓中官公吏節社員賦課入員九千九百五十八人賦課金二十八萬九千圓、一般營業家其他入員九千三十三人賦課金二十九萬七千圓であるが

現在の處 にては歲入に於て約二割の減收の止むなきに至るであらうと觀測されてゐる、一方政府當局の教育費國庫補助額は現在地方費を合せて十三萬圓であるが之も大變は二割減の止むなきに至るべくさすれば歲入は前年度八十九萬三百十八圓より約二割減にて七十一萬圓程となるべく歲入に於て約十萬圓の不足を告ぐるであらう當局者に學校組合會議員は之が補塡 のため苦心してゐるが一、授業料徵收、二、教員中俸給を整理して八月の擧業料を徵收する說、三、國庫補助增額申請等の議あるも問題は官公吏以外の一般組合員が從前通りの負擔に堪へ得るや否やにあるが現在の不況にては組合經營は既に行き詰まりを生じ當分此の狀態ならば根本的に財政整理につき考慮する必要があらう、十四年度豫算は一月末か二月初旬には組合會を招集附議する運

時事漫畫
〜大野靜方

朝鮮林檎排斥と發展策（三）
穗坂秀一

品質と値段 上海市場で販賣されつゝある林檎は四十封入りにして質は黄色と赤色の二種なるが其中赤色大部分を占め赤色種は日本名「初日出」原名『ワインサップ』であつて紅玉林檎と一見して同じであるが紅玉なる點は紅玉種程の甘味に乏しき缺點がある然とも北香味の高き貯藏力の無限圓光種以上で此二特質が外人や支那人から稱賛さるゝ所以である

取引狀態 賣買の方法はシルバリツダ即ち紙上賣買塗り狀の儘取引され一箱は六弗より六弗五十仙內外である取引は現金主義換り狀賣買なる爲め手數料は甚少である問屋より小賣店に卸すには一割の口錢との事業論と倒れや倍賣費用を計算とも中と思はる小賣店は更らに一割乃至十仙乃至三十仙內外に賣る斯く價格の高低ある所以は異なる其色合や買手の如何に由ると雖とも多くは手前の關係である

◎國首は日本式は其半値に當らぬ五錢見當であると束洋人から直接に耳にした朝鮮の同業者は何故に倍額の費用を投じて迄も腐敗の促進をせねばならぬか、それは運送間破損或は貯藏中の損傷を物殺すか一罕なると無謀なると比に在りと斷言し得ない外國人は國產品の輸出貿易には特別なる注意と用意を拂ひ得より損して其價格の人角々を生じて國品は其子箱の入角々を生じても表裝の破損或は中味の損失するが如き事はない刺み競爭中裏風雨等の蒙る損害にも可成りに箱を用いる

◎液一が大に效力あると時に一文此荷造り法が原因するのである、ないのは化學的消毒液（林檎を三分間浸せば五六ヶ月保存出來るので、ある米國品の五六月迄傷んで了うシリ詰められ分厘の間隙もない）が見られ日本式は外部より中味の腐敗してある米國式は堅牢で了比較するに米國式は至極簡單で前よりも強度ある双方の荷造り費を比る程度である地上に投下する米國品は二三尺以上の強度と一米國品は一も尙て破損せざる荷造り方は權正六分底蓋正の四分の松板箱を用ふ其中には細層又は粉殼を塡充し表裝は針金を巻き荷共上木棚を厚ふ、米國品の荷造り法は四十封度入りの小箱（日本三貫目入りの小箱より小さし）で厚六分其他は二分五厘の脆弱なる米利堅松材を用ふ其裝は膽角兩隅に帶金を巻きたるのみ中味の詰方は林檎一個宛『パラピン』又は模造紙に包みたる儘で一も塡充物なく尤も箱の內側には礬紙ボール紙を以て簡單に防腐の用意が施してあるが双方の荷造り方を評すれば日本品は頭上に箱を差し擧げて地上に投下する

荷造著荷狀況 朝鮮產
荷造り方法は權正六分底蓋正

歡迎される林檎
上海に於ては如何なる林檎が適するかと云へば『初日出』是は從來の米國品と同種であるから殆んど無競爭と云つていゝ國光種である日本人は馬鈴に甘味のものを好む外國人や支那人は寧ろ芳香分に富み刺戟性ある物を嗜好するが如し是は食物の關係上然りと云ふ外ない係紐種は中流以下の支那人向きに適するであらうと信ず。

日市場公定相場（弗）を見るも明瞭で八九十月頃は大槪一封八錢乃至十二仙十一月末は十五仙二十仙乃至二十五仙（上海日日新聞に依る）公定相場である十二月に入れば林檎の需用季であるそれに基督祭と正月の大需用を控へ年中の書き入れときだ此好季節に非買同盟とは皮肉を過ぎ頗る深刻と云はねばならぬ

蘭拾ひ取りて荷主に引渡し送り狀に異狀記事のなき以上は船長悉く其責に任じ荷造り不完全や積込途中の粗忽などに藉口して責任を他に轉嫁するが如きことは斷じてないと聞く而して若し此の如き嚴重なる責任を負ふに付ては『船中デツキ』に特別の設備を施しある事を實見した之を我國の輸送業者の狀態に比較すれば深い感慨が胸を打つを覺ゆ亂暴不親切も亦何不親切が如きでもなければ誇りでもない壞れた林檎を拾ふて手渡しするもの心と堅固で立派な荷造りを打壞して中味を食ふ動物的行動との間には商業上多大の損得がある現に私共は上海航路で此實驗を有するのだ

山色連天
戀水小波
◇山と積んで天に連ねむ初荷哉
◇色に出でゝ度ぐも屠蘇の醉
◇連勝の歎留多選手や年男
◇天井つく山高帽の御慶かな

公會私會
◇李王家の御招待 李王家に於ては一月七日午後三時半から仁政殿に總督府勅任官以上其の他を御招待午餐會を開催されると
◇定例局部長會議 總督府に於ては一月六日午後四時半から本年第一回の定例局部長會議を開催總監以下在住局部長列席諸般の行政に付打合をした
◇時局大同團會式 小一思想團體の各派聯盟と親睦相通ずる有志を以て今回時局大同團なるものを組織する事となり來る八日午後三時より旭町一丁目白水に於て發會式を舉行し內鮮有志を招待し盛宴を張ると
◇京物商組合總會 京城金物商組合は例年一月八日夜總會を催し役員改選前年度の會計報告等を行ふ新年宴を催す事となり居れるが宮本會長他出中にて多少延期すべしと

人事消息
▲佐藤京城消防內務長 東萊溫泉に入湯中の處五日夜歸城
▲新田鐵道部工務課長 鐵道直營に關する豫算案說明の爲め東上中であつたが御用納め三十日歸城した
▲鶯鐵道部工務課技師 同じく官制案說明の爲め東上中の處腦末歸任した
▲武田參三大佐（七十七聯隊長）參謀本部第五課長より轉任五日入城六日軍司令部を訪問した
▲三上滿洲府尹 五日家族引纏め鏡城より清津に著任
▲鈴木貫彦氏（鮮銀常務）一日入城朝鮮ホテル

茶話
◇休會明けの議會も漸く近づいて來るので色々と面白い問題が出て來る▲江木書記官長が內閣の議院總務の順番を確にしたと聞いて議事堂の中に『院に此の事は內務省の仕事だ』と云つたとか云ふはとかく質事の關係が合はないとかで、あれ▲木蓮の蕾は石筆花が綻ばされ議場を旅はつて大いに政府に迫らうとすることになつて居るとか云ふ居る▲木蓮に棲精なしとは云ふながら色々振つた間隙を捨じくると云ふものだ▲患に政國民の興味はこれから二、三ヶ月は花のお江戸にある譯だ▲これがやつと濟んだは、優勝罐の興發も櫻花爛漫の心も狩られるころと云ふ譯だ▲時は容赦なく進む、我々は深くと無意味な月を過ごしてはならない

天氣豫報（七日）
曇後晴

六日正午	攝氏零下二度一
五日最高	攝氏零下二度〇
五日最低	攝氏零下十度九

謹賀新年
診療時間 自午前八時 至正午
胃腸病院 麴町區内幸町一丁目三番地 電話銀座（三五一一番） 振替口座東京四八一五九番
院長 醫學博士 平山金藏
副院長 醫學博士 神保孝太郎
見習看護婦募集

育兒の寶
マルツ汁エキス
マルツ汁エキスはお肥りになれぬお兒達や通じの惡いお兒達には唯一無二の營養料であります
內地定價 大 壹圓九十錢 小 七十錢
全國有名藥店食料品店にて販賣して居ります
株式會社 和光堂
本店 東京神田區旅籠町九 支店 大阪市東區南久太郎町二
御申越次第說明書進呈致します

一飛行將校として 空の宮樣が御渡歐

華燭の典は四月頃御擧行

一昨年震災の折り佐紀子妃殿下を薨ぜられた山階宮武彦王殿下には愈々四月頃梨本宮規子女王(一八)と御婚儀の式を擧げさせる事となつた、尚ほ殿下は御婚儀後歐米へ飛行機御視察のため約十五ヶ月に亘り英佛獨米等を御視察になる御豫定であるが殊に殿下は他の宮樣と異り伯爵其他の肩書を使用せられず一飛行將校として御研究の御豫定である(東京電報)

東宮妃 御懐姫のお噂

目下御風邪でお引籠中

東宮妃殿下御懐妊三月御出産……との芽出度い知らせが新春の歌に陶然たる平和な帝都市民の耳に這入つた右に付き宮中側近者に質せば

妃殿下の御姙娠に就ては何とも申し上げ兼る國民としては一日も早く聞きたい吉報である丈けに吉報の方が先走るのではないか

と此の吉報を極めて慎重に取扱つてゐるが愈々御懐妊と言ふことに決せば何れ宮内省から公表になり國民と共に此のお喜び奉祝にせらるゝことと承はる、因に妃殿下には舊臘二十九日頃から輕微な御風邪にて御臥床中にお在し、元旦にも御大事を採らせられてお引籠りを續けさせられ三日、六日には兩殿下お揃ひで澁谷御用邸行啓の御豫定であつたが妃殿下御快癒になるまで御延期となつた旨拝承する、然し御風邪は極めて輕くたゞ大事を採つておはすに過ぎぬ由しであると承はる(東京電報)

龍山部隊 觀兵式

八日擧行

一月八日は陸軍始めに付龍山衛戍部隊にては陸軍始め觀兵式を龍山練兵場に擧行し鈴木軍司令官の閲兵を受くるが當日の參加部隊は龍山衛戍地駐在部隊及び飛行第六聯隊で閲兵指揮官は第二十師團長河田中將であつて式は午前十一時より開始せられ嚴肅なる閲兵式終了すると引續き觀兵式に移り續き練兵場に壯烈な分列式が行はれるのである

入澤博士辭職

正式に辭表提出

東京帝大醫學部内科主任教授として明治二十八年以來本邦内科界に貢獻した醫學博士入澤達吉氏は一昨年來宮内省侍醫として勤仕して居るが五日は恰も六十歳にて停年に達するより岡田文相宛て辭表を提出した、尚同博士は今後侍醫として専心勤仕する筈(東京電報)

海軍機 初飛行

帝都訪問

横須賀鎭守府海軍航空隊では六日午前九時より初飛行を行ひ飛行機飛行艇、飛行船十四機が帝都上空を訪問して一大壯觀を呈したが之より先横須賀航空隊では堀中佐、航空隊少佐が指揮官として三號飛行艇を先頭に次いで三號艇更に艦上攻擊機六機の順序で九時追濱を發し隊伍を整へつゝ帝都の上空に現れ一方霞ヶ浦より飛來する艦上戦闘機九機、水上機三機はアストラ號を先頭にして横須賀機と合し宮城、二重橋上空を旋回しつゝ敬意を表し各機一齊に花旗を放ち約二十分にて帝都を去つた(横須賀電報)

備銀不正事件

名古屋地方裁判所檢事局が昨冬から不眠不休で大活動を開始し檢擧に着手した備[illegible]銀行前頭取元憲政會代議士内藤[illegible]外二名に論告する

不正事件につき問題の中心人物[illegible]藤原[illegible]が四日突如檢事局に出頭した事は既報したが同人は三島檢事から長時間の取調を受け同夜は[illegible]屋町署に留置され五日北本刑事[illegible]の令状により名古屋刑務所に收容された之によつて事件は各方面に飛び火し其眞相を暴露するに至るであらうと(名古屋電報)

種ケ島の大火

百數十戸燒失

五日午前一時半より六時まで鹿兒島縣下種ケ島西之表に大火あり西町東町日四の辻町を燒き拂ひ郵便局警察署十五銀行鹿兒島銀行出張所等百數十戸を燒失した人畜には被害無し同島有史以來の大火である(鹿兒島特電)

梅花かをる一月七日前田利爲侯と華燭の典を擧ぐる 酒井菊子姫

公金拔取

郵便所事務員

舊臘二十九日平壤郵便局に到着した北海道燈川郵便所差立の過剰金二千八百圓の中六百圓不足してゐることを係員が發見したので平壤局では直局を始め澁川、燈川、飯米等の各中繼局を嚴重調査したが之等の諸局での事故にあらざることを確め燈川郵便所に至り所員を取調べた結果事務員金元請が故意に六百圓を抜き去り隠匿したこと判明し三日同人は檢事局に送られた(平壤特電)

旅館に二人賊

格闘の上捕はる

四日午前二時平壤漢泊通り十五番地の本旅館の裏口より忍び込み炊事場に潜伏して居る曲者を家人が發見し取押さへんとしたが曲者二名は逸早く逃走した急報に依り平壤前派出所より巡査四名急行し曲者を追跡し遂に元町に至るガードの下で一名と大格闘の末逮捕し一名は其間に逃走した逮捕された奴は長崎縣生れ當時府内西本町一八二洋服職前科三犯福田由藏(三〇)で今一人は同居人前科一犯山本萬吉(二〇)と云ひ共謀して竊盜を働いた事を自白した

東京の出初式

各地から見學のため參加

警視廳管下消防の出初式は六日丸の内二重橋前で行はれたが本年は震災後初めての觀式であるので稀な新鋭機の設備もあり各地方の消防組が見學のため上京參加した(東京電報)

米屋に强盜

三十錢を奪取

五日午前三時半頃龍山漢江通龍山驛前米商宋在明(四〇)方に一名の强盜闖入し主人宋を脅迫し有金全部出せと凄文句を並べ遂に末に布團を被せ押へ附け衣類のポケットを探し現金三十錢と銀時計一個を强奪逃走した、宋の話に依ると犯人は兇器の樣なものは持つて居なかつたが京城語の鮮人であつたと云ふが犯人は未だ逮捕されない

京城局で取扱つた 年賀狀四百萬通

擔軍に行嚢を擔せて配達

京城郵便局に於ける新年の年賀狀は連絡が一向も缺損なく順調に行つたので東京大阪方面からの積越し順調に[illegible]萬通を突破したが元日の第一便の如き一配達夫と他にチゲに背負はして配達に出た有樣であつたが普通一便の配達は一里四十分として二時間半四里弱であるが一號便に出て最長距離は午前九時に局を出て七時間實に十五里を配達した配達夫があり、一日一號便の總配達數、九十四萬枚の重量は百三十七貫餘に達した、尚ほ七日まで年賀狀の爲め配達回數を半減してゐるが八日から普通時間數に恢復すると

大陰謀を企んでゐた 時局に關する重大犯人

北京から東京へ潜入の途 京義線列車中で御用

五日後十時四十三分新義州發釜山行き急行列車内に於て時局に關する重大なる犯人が逮捕された。それは該列車が新義州を發して二三十分を經過した頃であつたが時既に十二時を過ぎて居たので列車はシンと靜まつて居た。一等寢臺車の一隅には安東から飛込んで來たらしい三名の洋服の男が何事か密議を凝らして居たが、若い男が先頭に立つて二等車内に入つて行つた。記者は不審の聞き耳を立てて居たが、數分間後には防寒帽を冠つた男が一人元の席に歸つて來ると何事か話して居る。『うまく捕まへた』『帝國議會に爆彈』『上海の……からの……』と切れ〲の文句が記者の耳を掠めて來た。何事か重大な事件があると狂喜して早速調べて見ると、果して重大犯人二名は既に逮捕されて食堂内に監視されて居た。先に寢臺車で密議して居たのは、新義州署の若い敏腕刑事の向井部、金の兩刑事と今一人は外人掛りの刑事である事が判つた。犯人はこの三名の刑事に護られて食堂車内の一隅に居たが二名とも未だ一見二十歳前後と見ゆる學生風の青年で一人は學生服を着けて果然蒼ぢめて居た。

學生風の 二人男

この二人は京畿道[illegible]生れの黄雄政(二二)と平北宣川郡生れの李弘正(二〇)であるが、一人は現在北京の某中學の學生であり一人は前に京城の某校の制服を着けて居たことがあるらしく兩名は二十一日天津を發し上海、北京等を經て朝鮮を經由し、今回東京に來陥する豫定となつて居る一味の者[illegible]と京城にて落合せ、同時に東京に潜入し或重大陰謀を決行せんとした途中に於て逮捕されたのである。彼等は別項京城の一味と直接連絡を保つて居ることは明かで警務當局では豫て、各方面と連絡し嚴重なる網を張つて居たのに、彼等はマンマと懸つたのである。

宣川署に連行

斯くて二名の犯人は一應宣川驛に引致取調べを開始したが、兩人は二個のトランクを所持して居たので、該トランクも同時に同署に引張つて取調べた。この兩人の逮捕によつて如何なる大事件が潜んで居たかが近く判明するであらうと思はれる。

警視廳大活動

不敬事件を企んだ 一怪漢檢擧さる

全國に不敬事件が未だ見えないが何ともない今日又も同じ意義の一派が第二の不敬事件を惹起せんとして暗中飛躍を試みてゐるので警視廳内鮮課では[illegible]二十五日外勤の舉發班と稱する一鮮人を各地に派遣して行方搜索中であるが、該人は滿洲方面で活躍してゐたもので先般使用した爆彈も同人の手から與へられたものらしく之に依つて聯絡を得た警視廳では上海の當局と聯絡をとり搜査を進めた結果最近數名の朝鮮人が東京に潜入し秘に[illegible]を目的として一大不穩の計畫がすゝめられてゐること判明した之が爲め警視廳では管下の各署に嚴命を發すると共に内鮮課と刑事部の[illegible]鮮人を一掃すべく努めてゐる(東京電報)

本町の火事

殘火の不始末から

六日午前三時十五分府内本町五丁目二二洋服職工尾上正方温突から出火し半燒一戸を出し同四時十分消し止めた原因は炊事場の殘火の不始末から

巡査部長が 竊盜を働く

而も元旦の夜に

京畿道警察部衛生課勤務巡査部長[illegible]は去る元旦の午後八時頃[illegible]家を訪問の[illegible]正門の方に行つた[illegible]逃げられず虚設付いて訪ふ所を某家人に追かけられ切羽詰つた際め一應今盜人を追つて來て外套と離とは取戻したが盜人は逃げたと弁解し[illegible]家人の手から逃がしたが其後で大膽にも同所附近を徘徊して[illegible]た婦人用のオペラバツク一個を盜んで逃げ出したが時夜警巡査部長の行跡と判明し警察部に於て直ちに同人を懲戒免官處分に附し引續き取調中

娘の劇藥自殺

府内延禧里二八三山口彦次郎長女山口ツヂ(二〇)は四日午後六時頃自宅座敷にて多量の昇汞水を飲み苦しみ居るを家人が發見し大騒ぎとなり直に附近の田中病院に入院させたが同三十五分絶命した其の原因は調査中

漢江氷上賑ふ

五日擧行する豫定であつた漢江スケート大會は所轄龍山署で積前の結氷度合が今年度の群衆を收容するに危險であると認め交渉の結果遂に延期する事となつたがそれでも五日の漢江は非常な人出を見選手の練習を見物する者約一萬に達した、龍山署は警官多數と共に出張し危險防止の爲め選手以外の者は氷上に入られない事として漸く事なきを得たが中流は尚二寸位の結氷に過ぎないさうである。

匪賊四名を殪す

【警務局發表】一日午前一時平北[illegible]警察署部補以下十三名は同地江岸に於て匪賊十三名に出會し砲火を交へる事約三十分にして匪賊四名を殪したが賊は此の爲め敗走長銃一、彈丸二十一、コールト式拳銃一、同彈丸四十四、其他の物品を遺して退却した警備隊には被害なし

近藤中佐死體

雄島海岸へ漂着

三日午前十時頃[illegible]郡雄島村海岸へ[illegible]近藤中佐の死體漂着[illegible]に落居に附し五日横須賀へ送られた近藤中佐死體は十五日であると[illegible]

甘粕事件の 森曹長

近く假出獄

甘粕大尉と共に大杉榮殺害事件で[illegible]年の言渡しを受けた元憲兵曹長森慶次郎は御成婚の恩典に浴したが改悛の情顯著にて模範囚人として既に刑の三分の一を終へてゐるので近く假出獄を許さると(東京電報)

侯爵の落胤と 名乘る天一坊

裁判に敗け同志を引連れて 侯爵邸に押寄す

[illegible]故侯爵の落胤だと名乘り出て裁判沙汰迄持出した府内[illegible]は裁判に敗れ[illegible]同志を引連れて侯爵邸に押寄せ[illegible]

東京相撲

樂隊入りの 人氣挽回策に

東京大相撲は愈々九日に初日を出すが[illegible]人氣挽回策に苦心の末[illegible]樂隊入りの[illegible]

大會打合會

各團體幹事の參集を乞ふ

[illegible]

横山隆一氏

市内本町一丁目洋傢具商株式會社横山商店社長横山隆一氏は豫て[illegible]にて療養中の處病革まり四日午前八時死去した葬儀は金澤市八坂松山寺に於て執行せらるるが當地では十日午後二時市内若草町西本願寺別院で追悼會を營む事になつて居る[illegible]

全鮮カルタ大會

期日の近づくと共に 到る所で猛烈な練習戦

本社主催の全鮮カルタ大會は[illegible]

人妻の寢室に

忍入る

府内南本町[illegible]

十二人で 賭博開帳

一網打盡に檢束

[illegible]

質屋荒しの 强盜の片割れ

遂に檢擧さる

[illegible]

濟生院年始會

[illegible]

武徳館稽古始

府内[illegible]武徳館では恒例に依り五日午後一時より盛大なる稽古始の式を擧行したが六日より引續き三十日間寒稽古を行ひ心身鍛錬に努る由

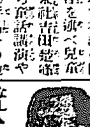
竹添町小火

五日午後九時二十九分府内竹添町九一林榮根方より出火同四十五分鎭火大事に至らなかつたが原因は連結[illegible]注意の爲温突より布團に延燒せるものである損害十二圓餘

丁字屋の社勤デー、南大門通丁字屋小林源六翁は毎年の例に依り五日午後二時半から救世軍育兒ホームの收容兒童五十餘名を自宅に招待お汁粉を馳走し慰安會を開催した

新職業

▲益々有望なる



[illegible]

東京牛込區通寺町廿二 東京電氣療法研究所

樂浪文化を參考として新案せる珍菓

平壤土産

樂浪萬壽

樂浪落雁

平壤府大和町 下江黄金堂 電話三〇三番

社長横山隆一儀豫而郷里ニ於テ病氣ノ處療養不相叶本月四日午前八時三十分永眠致候ニ付此段謹告仕候也

株式會社 横山商店

横山隆一君去ル四日午前八時卅分郷里ニ於テ逝去セラレ金澤市八坂松山寺ニテ本葬施行相成候ニ付テハ來ル十日午後二時若草町西本願寺別院ニ於テ追悼會相營可申候間生前辱知諸彦ニ謹告仕候

友人總代 松寺竹雄 新田留次郎 荒井初太郎 淺松太郎 山岸祐太郎 森忠一郎 澤村九平 山岸富次 大垣丈夫 本吉清一 酒井與三吉 南源兵衛

加越能郷友會

有隣生命保險株式會社

一度の保險證券―夫れに包まれて居ります 老後の慰安も子孫の計も

本社 東京丸の内 朝鮮支部 京城黄金町

御得意樣並に大方諸彦

乙丑一月元旦

別府龜の井ホテル

油屋熊八 油屋ユキ 從業員一同

弊館こと舊臘より組織を株式會社となし、同時にホテルと改稱して、いよ〱御旅で不自の理想に向つた進めました。洋室も食堂もはた暖房など、相當に整つたつもりであります。日本の宿屋にいまだに御茶代などの關習があることは實に交通機關の不備だと信じます。出來得るだけ安くしてお客樣に滿足して頂かうと[illegible]

龜の井は特種旅館ナリ御祝儀ナキ樣御厭ヒマス

軍隊毛布特別處分

極大判一枚掛 一枚タツタ二圓也 一枚特上三圓也

[illegible]

新雜誌七割

年賀狀は昨年より斷然やめました

午略儀紙上にて、新年の御祝詞申上げ併せて皆樣の御幸福を祈り上げます。

特價提供ハガキで申込め 無代進呈す

東京市京橋區 [illegible]誠社

謹賀新年

乾燥機界ノ最高權威

特許帯川三光式乾燥裝置

說明書送呈

東京京橋片倉ビル 大和三光商會 銀座(長)四六三六

登錄商標

大阪東區南久寶寺町 澤田幸太郎商會

水利事業を起せ

不二興業社長　藤井寛太郎

總督府當局は從來以來産米の增殖計畫を發表せられ朝鮮產業開發の第一主要を最も重く又最も大にして且つ急なる灌漑、干拓、水利等土地改良事業に特別の意を用ひられ大に

其の速進を計らるゝ事

と爲つたのは實に慶賀に堪へざる處である。是等事業が既に朝鮮の産業を開發する上に於て最大急務とする謂りで無く帝國の食糧問題を根本的に解決するものであり亦朝鮮統治上最大好影響を伴ふものである事は今更贅述する迄も無い。昨年の大旱魃に依りて從來種々の着想を耳にして居つた水利組合は成績的に讃美せられ或は感激せらるゝに至つたが、我々の眼を以てすれば是は他人及び關係農民が餘りに近視眼的で常に遠大の思慮に缺ける事を實現せる證據と言ふの外は無い。僅へ一二年旱雨の年が續いたからとて十年二十年の大旱魃と三四年の小旱魃を忘れ

大勢を忘れて

組合費の負擔を被害と言ふ如きは脈絡の小さい感せらるゝ結果である。全鮮水利組合の實績に見るも灌漑既成の水利組合は僅に一萬三千町步區域外に流漑せるも一萬七千町步は全然旱魃を免れたるのみならず旱魃の四千町步合計二萬七千町步は全然旱魃を免れたるのみならず其の灌漑區域の附近地帶の餘となつて大豐作で附近地帶の餘となつた、若し此事業が無かりしならば少くも七百萬圓以上の減收は到底免れ無かつたのである。水利組合の總事業費約六百萬圓は一ケ年に回收し得て尙一百萬圓の剩餘を生じた事實を擧げて居るのである。斯くの如き確實有利の事業なるにも拘らず一ケ年の投資額に一千五百萬圓の小額資金も困難とせられ銀行特別の勸きに依りて辛ふじて事業の經續を防ぎ來つた現狀である。

經營費の如き

經費二千五百萬圓にも上り將來に於ける物價も騰貴の爲に比し水利事業の投資は昨年の如き年には一ケ年を以て回收し得られ來年にても二ケ年にて回收を爲し得る建設工事中も地方民の爲にませ得るものである。大正十四年度は此意味に於て大に勸誘、干拓水利事業の擴大ならん事を希望するものである。

六百萬石增收

を實現せらるゝことは、吾人朝鮮住民として誠に歡喜に堪へざる所であると共に其實現の一日も速かなることを切望して已まざる所である。此の點に就て吾人は我が朝鮮の山間僻地に於ける水力を開發して電氣を起し、而して之を産業に應用し或は之を耕耘の勞力に代へ或は灌漑排水の動力に使用し、或は紡績機械の運轉、或は精米精麥に應用し、或は雜貨の重工業に應用せば或は蠶絲の家庭工業に應用せば勞力を節約し、生産を增加すること期して俟つべく、從來の誤れる

地表面を有效

に利用して其價値を增大するを得べし吾人は此の見地に於て朝鮮の産業開發の一策として地方水力の開發利用を慫慂して已まざるものなりとす。

地方水力の利用

京管事務　武者錬三

人口の激增は何れの人間に於ても漁撈、牧畜、農業、工業の順序を追ふて進步發達せるものにして我帝國は今や世界列強に伍し、進化の道程は

將に工業時代

に入れるものとす。然しながら我國民の常食は米穀なるの故を以て工業時代の今日農業は一の立國的必要事業であり、從つて我が帝國は今後如何に發達し、如何に進化するも農業を閑却する能はざるのみならず、人口增殖し耕地減少となるに從つて、此の事實は益々緊要とされ、或は機械的となり或は科學的となりて其收穫を增加せざるべからず。現在我が帝國にては年々三百萬石の米不足を生じつゝあるは世人の齊しく憂ふる所なりとす。此の時に方つて我が朝鮮の現狀を顧るに其農業は猶未だ幼稚の域を脫せず今後大に之が開發を要すべきは識者の齊しく唱道する處にして下岡政務總監も屢に此の點に着目せら

講談

出世の谷風

神田伯山

一〇

それからお寺の方へ來て見ると、此處の邊に非戶のある家、此處だと思ふから飛び込んで來て與『お頼み申します』と、お内儀さんが出て來て內『入らつしやいまし』與『エ、谷風さんの家は此處でございますか』內『へエ、秋右衞門の家は此處でございます、何方から』與『此手紙を見てお與んなさい』出した手紙を、お內儀さんが見ると、是は與四郎と云ふ者だ今弟子にした家へ屆け』內『お前何かい、家の弟子になつたのかい、然らかい、着物をどうしたんだい』與『汚え着物だから打やつてしまひました』內『幾ら力士が裸體稼業だからと云つて、初めて來る家へ眞つ裸體で來る者もないもんぢやアないか夫れはそうとしてお前の眼は何處で締つたんだい』與『ヘイ、此の眼が闊眼を瞑りますと、向の若い者が闊眼々々と呼び込んで繕つて與れました』內『マア何と云ふ間拔だらう。惡人がそんな眼を締ふと嚴しいんだよ、相撲を取つた事はないかい』與『一遍も取つた事はありません』內『何しろ此方へお上り、然うして何か着物を着なくちやアいけない』何れ御祝儀で、左樣でも取つたといふお內儀さん、闊取と互に苦勞の末が、夫婦になつたといふやうな闊取は然ういふ營業でもした人は氣が若いから、子供見たやうな事をする、親方の衣類をソックリ出して內『サア是をお着、闊は斯う纏るんだよ、褌は斯う結ふんだよ……マア立派ぢやアないかねえ一寸廊つて御覽、さう届かなくちやアいけない、モット反るんだよ立派だねえ、一寸立つて御覽』與『斯う立ちますか』內『向ふを向いて御覽、歩いて御覽』與『斯ふでがすか』內『闊に立派だよ、惚々するよ、此方を向いて御覽、座つて御覽』與『へエ』內『座つて御覽』與內膝へ腰を出して與『一遍座つて御覽』內『何て云ふ言葉を出すんだね』與『貴女アノ手紙を見て與んなすつたか』內『アヽ見たよ』與『夫に飯を喰はせろと書いてありましたら』內『アッ皆忘れて了つた』與『肝腎の事を忘れては困ります』內『マア澤山お食べ』是から四ら／＼と騷ウンと詰込んで與『どうもお內儀さん御馳走樣』內『食べたかい、お前煙草を喫かい』與『ア、喫みます、生意氣でがすか』內『オ、生意氣と云ふ事はない、煙草入れを買てやるから是で喫んで御覽、どうだい大きいもんだらう十六本の鏡が附いてる』與『大かいものでがすな、イヨウ此の煙管は用方がありますね』內『ア、其れは親の遺だよ』與『癖いものでがすな』內『ア、そんな喫み方をしちやアいけないよ、雁をすぼめて身體を小さくして、茆然お前さんが相談でもするやうな格好ぢやアないか、力士といふものは大きくしなけりやアいけない、斯ふ煙草を詰めて煙管へ詰め一服右の手へ持直して、それから煙草盆を斯う膝に取て、火をつけて、モウ一遍右の方へ持直して、それから悠々と口へ持つて行くのだよ、やつて御覽』與『斯うでがすか』內『さう／＼旨い、惚々するよ、モウ一服喫んで御覽、モウ一服喫んで御覽』と遂々十五六服喫はせられた與『お內儀さん、モウ勘辨してお與んなさい目が眩んで來た』

一一

すると家の若い者が稽古を始めたサア來い、ヨイショッ、ヨイショッ、ドシーン……ヨイショッ、ドシーン……其稽古の荒い事、是だから强くなる譯でございます、力士の稽古は、死然武士が、戰場へ出たやう、魂を入れてやつて居る、それですから大した響き、與四郎が耳を鋒たてゝ聞いて居りましたが與『お內儀さん彼れは何でがす』內『家の若い者が稽古を始めたのだから、お前行つて御覽』與『それぢやアお前行つて御覽』與『それぢやア此の煙草入と煙草袋を借りて行きます』內『ア、持つてお出』與四郎煙草袋と煙草入を提げて悠々とやつて來た、與四郎緣側へドッカリ胡座を搔くと、前へ煙草盆を置いて、後の臣へ懸掛り、パクリ／＼と致はつた迦り、煙草を喫みながら稽古を見て居る、部屋の者が皆それを見て甲『ヤイ／＼立派な闊取だなあ、誰か闊を知つてる者はねえか、何しろ好い男だな』乙『彼れア今度何だ、今度一人來るといふ好い闊取が一人來るといふだつた、面を見て挨拶をしねえと後で憎まれては損だ、皆來い／＼挨拶するから』『ゾロ／＼ゾロ／＼部屋の者がそれ／＼來ると、ズーッとならんで頭を下げ甲『へエ闊取さん、補風部屋の者でございます一同御挨拶に罷りました、どうか闊取可愛がつて……』與『オーイ然ふかい』ひどい奴があつたもので、闊取さん／＼と云はれてオーイと返す甲『エッ闊取さん、一つ稽古をして頂きたいものだ』與『一寸お立し』甲『サア闊取が稽古をして下さるんだ、誑込みを持つて來い』と云ふと眼的が誑込みを持つて來て、チャンと附けて了ふ與『サア來いよ』圖太いもので一度も相撲を取つた事のない人間が稽古臺甲『闊取いみます』と代る／＼に飛んで來る奴を、今見て居た通りにコロ／＼コロ／＼轉がす實際强いから、闊取と思ひ込んで闊取／＼とお辭儀をして稽古を附けて貰つて居ると、所へ歸風林右衞門、家へ宜い新弟子が來て居ると聞いたから、忽ぎ足で林の東から早く歸つて來て林『歸つた、お前、一寸一人遣したかどうした』內『お歸んなさい、是々斯々です』と話をする林『何だ、新弟子に稽古を附けて貰つて居る、馬鹿な奴だと笑ひながら大へ出て來て林『コレ與四郎／＼』與四郎がセヒィと見ると補風親方だから驚いて、バッとそれへ飛んで來ると興『親方お歸んなさい』とお低頭をした甲『オヤ／＼彼の闊取は家の親方の前へ行つてお低頭をして居るぞ、モシ家の親方の闊取で』林『是は肥野郎、何處の闊取で、今度から弟子にしたばかりだ』甲『エッ此の野郎が弟子だ』甲『エッ此の野郎を馬鹿にしやがつて、闊取と云へばオゥと返事をしやがつた』與四郎がゲラ／＼笑つて居る、諸目四郎が立派な拵装をして居たからの間違へたのでありますが、立派な扮裝をして似合ふと云ふのが、既に與四郎にそれだけの格式がある

のでございます、されば後年谷風梶之助となつて日の下開山横綱を張り其名を天下に轟かしたと云ふ谷風梶之助の生涯を是にて終りと致します。

金剛電氣借款

金剛山電氣會社では昨秋殖銀より五十萬圓を借入れ鐵道工事として殖銀の借款交涉中の所昨冬交涉を為し商談を遂げ昨冬交涉中の所昨冬交涉を為したが利率は日歩二錢で年一割五分である

綿布小康

正月三日間平均の米棉は一圓五十錢安、印棉四十錢安の材料を入れて三品市場は昨日限寄付三百八十二圓丁、先限三百五十四圓九十錢と小二圓方の昂騰を見せたが引値は當三百八十圓九十錢、先三百五十二圓九十錢と引締み頗る鈍狀を示したので頃日來新甫高を豫想されてゐた當地綿布は依然として思はしき手合なく六日三A、三百三十圓出來跡三百二十一、二圓唱へ金剛山三百十五圓見當と新甫保合ひ模樣を呈してゐるが採算點から行けば茲許當然昂騰を見なければならぬ値頃であるが何分正月の事とて先づ小正月迄は大した變化なく現狀往來であらう

仁取仲買授賞

仁取では慣例に依り六日朝の初立會に於て前年中の最高賣買者に對して授賞式を擧行し左の通り金盃を授與した

一等	金盃	丸タ仲買店
二等	金盃	吉金喜三郎
二等	金盃	丸マ仲買店
三等	銀盃	廣澤正次郎
三等	銀盃	丸カ仲買店
四等	銀盃	力武嘉左衞門
四等	銀盃	丸鷹仲買店
四等	銀盃	小林勝右衞門
五等	銀盃	丸米仲買店
五等	銀盃	高橋謙三

手形交換激增

京城組合銀行十二月中に於ける手形交換高は十二萬六十二枚、五千九百九十四萬四千四百九十二圓十八錢であつて前月に比較して枚數二萬二千四百十一枚、金額一千九百五十三萬三千六百八十三圓五十三錢の何れも激增を示してゐるが從つて本年七月以降（下半期中）の手形交換總額は左の如く近年にない膨脹を呈した（單位圓）

月次	金額
七月	三四、三三八、七六四
八月	三五、一九二、三〇七
九月	三六、六九一、一七九
十月	三七、〇五〇、八二一
十一月	四〇、四一〇、八〇八
十二月	五九、九四四、四九二
合計	二四三、六四八、三七一

不渡手形減少

府內組合銀行十二月中不渡手形は八十一名、百四十一枚、此の金額二萬四千五百五十一圓三十八錢であつて前月に比較して人員四名、枚數三十六枚、金額一萬五千百九十四圓七錢の何れも減少を示したが大正十三年下半期中の不渡手形は左の通り（單位圓）

月次	人員	枚數	金額
七月	六四	九八	一九、九一五
八月	七七	一一三	三五、八二一
九月	六八	一三六	三七、五七三
十月	八六	一六五	三八、一〇四
十一月	八五	一七七	三九、七四五
十二月	八一	一四一	二四、五五一
合計	四六一	八三〇	一九五、七〇九

海外經濟電報（六日）

倫敦銀塊	三三片十六分の五
米棉	一圓五十錢安
印棉	四十錢高
英米爲替	四弗七仙四分の三
	二仙八分の三高
スチール	一二〇弗二分の一
	二弗安
アナゴンダ	四六弗八分の七
	八分の三安

春高人氣と議會案じ

新年の初立會は鐘新を先頭に大爆發を告げ跡商精凡化したが鐘高人氣は依然强く安値に向つては頻りに買物も相當に現はれて安くは買はんとの人氣强く新規の買物も相當に現はれて寄付入れて安くは買はんとの人氣强く觀測され所謂金融相場の出現を目論んで居る、それにつけても議會案じが祟つて賈氣を減らし既に一と崩れきした相場も目先尙一段の高値に進まない限り容易に下値は望み難いと觀されて居る

株式（六日）

東京コール（六日）翌日拂二錢より三厘　無條件一錢九厘より二錢　普通一錢九厘より一錢　月越二錢一厘より三厘

初會爆發　諸株一齊高

復興第二年新春劈頭の初立會は慣例に依り天日社長初會の辭に對して田中委員長答辭を述べ說酒を擧げて立會開始の第一聲を上げた休會中財界に何等の變動なく議末決濟は金融小弛みの裡に無事終了し更に政府の公債非募集聲明等があつて春高人氣に拍車をかけつゝあつた折先の今朝大阪初立會大新九十一圓八十錢鐘新百十八圓四十錢の大爆發を入れて人氣沸騰場面大活況を呈し結局大新九十一圓五十錢、京取三十一圓ドタより三十四圓九十錢仁取九十四圓ドタ、鐘新百十八圓二十錢と狂騰し其他仁新三十四圓五十錢安取十二圓九十錢と昂騰諸株一齊高を告げ好勢裡に大引した（短期初會比較）

▲京取一圓八十錢高
▲仁取一圓四十錢高
▲仁新一圓四十錢高▲安取七十錢高
▲鐘新八圓二十錢高
▲大新二圓六十錢高

後場臨時休會

新春期待多し

新春の株界に對しては一般に春高を見越して强調裡に納會を告げ休會晴かり中に於ても財界に何等の變動なく特に政府の非募債聲明と年末兌換券の發行額約十七億圓台を割り七億六千萬圓餘に減するに至つた等の事情は益々人氣に安定を與へ通貨の膨脹に伴ひ日銀利下げの期も遠くはあるまいとの觀測も行れて財界の前途は多く樂觀され所謂金融相場の出現を目論んで居る

京鐘賣方追證

今前場の暴騰に依り京取鐘新共證金切となり京取賣方は一株一圓五十錢鐘新賣方は一株七圓百七十枚分子百九十圓の追證を前場大引後市場に納入した

隨時取引初商內

新春から新たに實施された隨時株取引は京信株に五圓丁度で二十枚の初手合が行はれた

短期喰合尻（六日現在）

	賣	買
京取限	九二〇	

初會手口

▲大新、成清　新田、マルカ、洪鎭、定岡、金秀、南マ、パラカイ出來高八百八十枚▲京取洪祉、金鐘、李南、成清、田中二、百三十、新田三百九十、市川百八十外四店ウリ、定岡六百、洪祉、吉見、田中、金秀、南外四店カイ出來高千五百六十枚▲鐘新、吉見二百九十外三店ウリ、定岡百七十外五店カイ出來高三百五十枚

出來高

▲長期　累計　四、五〇〇枚
▲短期　累計　四、四〇〇枚

公社債株式賣買

取引所仲買人　田中支店

京城府黃金町二丁目　電話本局

米況（六日）

仁川期米

初立會

年末年始を通じての晴か振りの仁取初會は各地正米の一齊高に今朝の大阪が案外一般に高見越なりしも大阪が案外に高值を出して…

米界餘聞

今日は吉例の初相場とて定刻の十二時に至るや立會の鐘が鳴り響くと共に市場松理事長始め一同が拍手に迎へられて高基に現れ年頭の挨拶に續いて小林新委員長の答辭が濟むと同時に新春場頭の第一聲が勇然と響く

初會氣配呆け

內鮮の不作說と財界安定の曙光を伝へ春高氣分に新春を迎へた米界も各々の取引所にて迎へんとの結果は値の居處により一面議會案じや内外の事情を考へて…

仁川米豆取引所仲買人
深川正米無活氣
松田虎之助

京城正米

正午十二時より初立會を開始し今村組合長の挨拶に次で手打の式を終り天日相談役の年頭所感の辭ありて直ちに立會に移りたるが…

仁川正米

今朝初取引は丸キ四等三十五圓二十錢より五十錢…

釜山正米

現物殺良都三十六圓五十錢…

群山正米

現物全羅三等三十六圓八十錢…

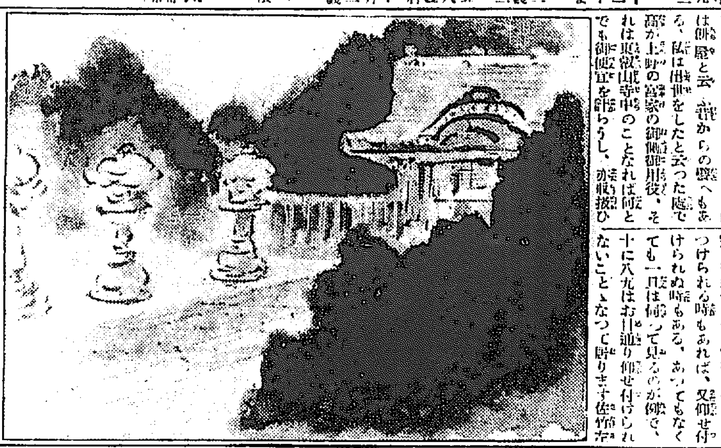
大邱正米

現物殺良都三十…

江景正米

二月中限三十六圓三十六錢より三十八錢二月末限三十六圓六十錢より五十二錢

仁川米豆取引所仲買人
仲買店
電話六三二番



津の國屋小染

【五十八】

小金井蘆洲

杉田大藏はチッと津の國屋物兵衞の云ふことを聞いて居りましたが、大、フム／＼、それは飛んだお氣の毒のことでしたな、吾、へエ、旦那樣、誠に御出がましいやうですけれども、以前に變つて斯く御立派に御出世遊ばした杉田大藏樣の此の大藏樣のお力を拜借してお嬢樣が佐竹樣から無事に歸つて來るやうにお取計らひ願ひましたら……、大、ウーム、オー聞んに好い處へ氣が付いたエ、如何でございませう、何とか大藏樣、お助け下さいますまいか、杉田樣、此の通りでございます」と主從夫婦三人が、三方から淚を流して頼み入つた、大、イヤ少しお待ち下さい、まアお待ち下さい、醜い家は御屋と云ふ名前からの寄へもある、嘆は出世をしたと云つた處で高が上野の寛永寺の御縁でもあるそれは東叡山寺中のことなれば何とでも御便宜を計らうし、蘭般拔ひであるまい」と厳の首のやうにして待ち受けたが、三日が五日、十日經つても更に何の音沙汰もございません、此奴はもどかしい、是が物を注文したのなら、○、オイ何うしたんだい、捕へて與れなくちやア困るぢやアねえか、もう約束の日限が切れて居る」とも申せますが、然うアカスケに搔合ひ込む譯にも行かないし、何うしたものだらうかと獨りに待詫びて居りました、茲に東叡山寛永寺は東照神君の靈を祀り三代將軍家光公以來各代の將軍家の御廟になつて居りますから諸大名が御參詣にお出でなさる、其時には先づ第一番に寛永寺家の機嫌を奉伺するので、宮家の御都合に依つて御目通り仰せつけられる時もあれば、又仰せ付けられぬ時もある、あつてもなくても一日は伺つて見るのが例で、十に八九はお目通り仰せ付けられないことゝなつて居ります佐竹

家は例に依つて一月元日から三日まで東叡山寛永寺に參詣をして、御門跡にお目通りを願ふて居た、スルと今日は如何なる宮家の御都合か目通りを許すとお取次の言葉でございます、これには佐竹侯も不審を打つた體で、やがて御案內に從つてお座の間へ通る、宮家は御簾の中の一段上におはしまして、其前に左京太夫は惶んで平伏を致し、其處より佐竹左京太夫お目通りながら御年頭の言葉を言上し賀詞を述べる…

海州の元旦

【海州】一月一日は海州では宗務課に於て四方拜を行ひ知事以下の職員參集し大禮服を纏ひ祝賀式を擧行し…午前十一時から海州公立小學校では職員生徒が集合して賀式を擧行した

將棋新手合

三

…

物理療法

▲慢性の難病患者では非常に難澁する…を救ひ患者の痛みが速かに減ずるの効果あり…

適應症

神經痛、リウマチス、神經衰弱、腰痛…

京城日報社
代理部

日本を亡す者は米食黨なり

國民よ麥飯を擧つて

農村振興策となり
小作爭議は解決し
食糧問題は確立し
衛生食餌法となる

有田音松

【問】久しくお目に掛りませんが、既往六ケ月を通じて、全國の各都市に亘り、敬老會を御開催になりました様ですが、各地御巡回中の御感想として、農村問題、小作爭議、延いては、我邦の食糧問題に關して、何か御研究になりましたか、御高見を伺ひたいものです

【答】農村振興に關する余の意見は一言にして盡すことが出來る、卽ち農村は現時疲弊の極にあるのである

這は實に由々しき國家問題である、我日本國民の死活問題である

國は農の基といふ

農業立國の我邦に取つて、看過すべからざる大問題であらねばならぬ

我國民の約半數（四割五分の農民）が困窮してゐるといふ事は農民自身の苦痛であると同時に我國民全體の一大不幸である

而も其の原因が政黨者流又は一部の政治家と二三の政商輩が相結託して、互に私利を營まんが爲め

名を米價調節

に依りて、無暗にドシ〳〵と外米を輸入したからであるといふに至つては實に言語道斷の沙汰ではないか

農村疲弊の最大原因は、外米輸入の爲め、我米價の下落すると同時に、麥の價格が非常に下落したからである、麥價をしてかく下落せしめたものは外米輸入である

輸入を奨勵したものは、我利々々の政黨者流と、一部の政治家とである

彼等は實に、南京米を喰へと國民に教へたのである、そして麥といふ、營養に富んだ、我國民の食糧を除外したのである

我國民の食糧を以てするならば、麥飯の奨勵をして、かく

疲弊困憊せしめ

たものは、實に我一部政治家と政商の徒輩である

かやうに政府者及び政商が、相提携して、終に今日の米食主義にして了つたのである

勿論、國民も、その罪に陷つて、戰ふて外米を喰ふの愚を敢てしたのである、イヤ今でも盛んにる

國民は何故に、麥飯を喰はないのであらうか、安價にして最も營養に富んだ所の麥を、ナゼ喰はないのであらうか

そこへ行くと、外國人、殊に米人は如才がない、テキサス邊で出來た米を日本へ賣つて、自分等は小麥を喰つてゐる、何でも歐米やと羨撤をしたがる連中が、何故に喰ひ物だけは、外國人の眞似をしないのか

麥飯が如何に營養に富む衞生的食物であるかといふ事は、別項陸軍に於ける

兵士の食事に

見ても分るでないか

麥を喰はなくなつた我國民には胃腸病者や、脚氣患者が激增した、胃腸病や脚氣病は、米のみを喰ふ所の我國民に最も多い病氣である。病人になつてまでも、米を喰はなければならぬとは、何と厄介千萬な次第でないか

元來我國民は、麥飯を喰はなければならぬ様に出來てゐるのである

何故かといふに、我國には、元々國民全體が食ふ丈の米が出來ないのである、それを補ふものが卽ち麥である

日本人は古來

より、米麥を喰つて生きて來たのである

米麥が我國民性を造つて、質實剛健な體軀と、精神とを保持して來たのである

それが米食でなければ[illegible]ないなどゝいふて、その結果、胃腸病や脚氣病が殖えたのである

近頃流行に運動熱が盛んになつて、猫も杓子も、野球だ、テニスだと騒ぎ廻るが、いくら運動を奨勵した所で、肝腎の食物を閑却してゐたのでは何にもならぬ

古人も言つた如く『喰は命を繫ぐ』とあつて、營養から先にしなければ、體力が充實するものでない

先づ營養食糧問題から始めなければならぬ、營養價の多い麥を無視してゐる、今の國民に、果して其の自覺があるといへようか

我國民が外國模倣で、輕佻浮華になつたり、體力が柔弱になつたのは、米を喰ひ出した所である今の日本人の多くは、飯盛りだといつても差支はない

俗に『米の飯が頭邊へ上る』とかいふ奴、又は南京米でも可いから『白い飯が喰ひたい』といつたやうな輩が卽ちそれである

それはまアそれでよいとしても茲に一考す可き

重大問題が

ある、それは外でもない、若し此の米食習慣で行つて、一朝外國と開戰でもした場合、輸入が杜絶となつたら、その時は一體何うなるだらう歟

何事にも習慣は恐ろしい力を持つものであるが、殊に食事に就ては一層甚だしい作用を持つてゐる、日露役の當時、露國の俘虜が日本食を喰ふことが出來なくて困つた事がある

今日斯の如く、米食を常食として了つたのでは農家が麥作をしない事になる、從つて俄に之を麥飯に變へるといふ事が至難な事になる

こんな工合で、日本人の食糧問題は、容易に解決されないのである。

米食主義で、麥が安價になつて、之を無視するから、麥を作つても引合はぬやうになれば、農村の麥作は自然に減ずる譯である

それは現に激減してゐるのである、今日の農村の疲弊は皆これにひどいものである

此の如く麥作が減じてゐる處へ若しも外米輸入が杜絶するやうな事があつたら、我國民は一體何を喰つて生きて行くのか、外米々々と何時も他人の物を當にしてゐて戰爭でも起つた時には何うするのか、輸入は杜絶する、實に危險千萬な話ではないか

國産奨勵だ

爲政者は二言目には、國民自給の必要を說く、自給自足の理想を說く、そして此頃は又といつて、大袈裟な宣傳をしてゐるが、何故外米輸入を止めて、國産の麥食奨勵をしないのであるか、之は全で、頭隱して尻隱さぬ類の醜態ではあるまいか

【問】能くお說は分りましたそれで全體、その輸入外米といふのは、何れほど輸入されて來るのでせうか

【答】我國に輸入される外米は年額約五百萬石（金額一億五千萬圓）以上といふ巨額の外米を輸入して、それが爲に金貨が流出するのである

非衛生な、そして營養價の少い不味い南京米を喰はしてその爲に我國富を減ずる一方に莫大の多い上農村を疲弊せしめるとは何事ぞ

これ位、理解のないデモ政治屋が國政を料理しようといふのであるから、誠に心細い次第ではないか

外米などを輸入しなければ、日本人は、營養に富んだ麥飯に飽るのである、困らなければ外に喰ふ物がないから……。

それで日本國民は健全なものとなるのであるが、それを一部の政府者が邪に立つて

米食主義を

採るから、國民揃つて米食主義に陷るのである、從て延いては外米輸入となるのである、延いては我利々々政商屋や、政治屋の私腹を肥し、國民全體が彼等の犧牲に供せられて、國民は今日の窮境に陷つたのである。

白い飯を喰ふのは、實に[illegible]らずである

同米人は小麥を喰つて、[illegible]ものではないか

かやうな譯であるから、今にして國民が改めて麥飯を喰ふやうにもなれば、やがて麥價は昂騰して農村の疲弊は恢復され從つて

小作爭議など

といふが如き、忌はしき問題も解決されやうし、國民の食糧問題も、確立され、延いては莫大な金貨の流出も阻止される事が出來る

實に一擧にして兩得三得の結果を得るのである

之に於てか、予は國民が擧つて麥飯主義を實行せんことを提唱するのである

されどこれが實行方法としては

治者たる官吏

から自ら麥飯を採つてその範を國民に示さなければならぬ

古人の所謂上の好む所下これに倣ふといつてある如く

苟くも社會の上層に位する者、殊に爲政者又は知識階級からして率先麥飯の實行者とならなければならぬ

斯くして我が國民全體が、麥飯主義者となつた暁に於てこそ、始めて我國の農村問題も小作爭議も食糧問題も共に解決されるのである

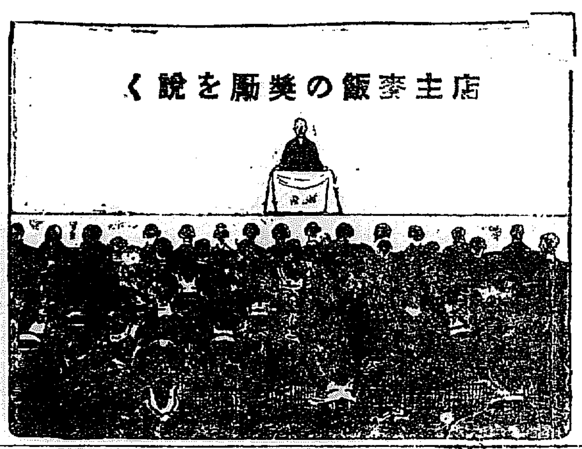
之れ予が麥飯主義を高唱する所以

店員工場員全部麥飯主義を實行す

有田音松

予は元より麥飯主義で且其の實行者であるが、今回之を全店員並に工場員に實行せしめる事にした、店員は寄宿制度であるから、全部寄宿舍に命じて、七三の麥飯にした所が工場員は通勤である、から何うかと多少疑懼の念もあつたが、諸員熱誠の結果、既に予の意見を容れて、麥飯の辨當を持參してゐたので予は麥飯の辨當持參者に對して賞與金を與へ、勵行を實行する者には、年末に重ねて賞與を與へる事を約したのである

古人が『謂ふ隗より始めよ』といつて成功を自分から實行した譯で、予は斯くして麥飯の實際に努力する覺悟である



店主麥飯の奬勵を說く

商會の麥飯辨當仕出所　大阪本町橋西詰南八幡屋

麥飯と陸海軍

麥飯で一貫五百匁殖える
國産奨勵と麥飯第一
米はスカ屁で麥は大砲屁

有田音松

【問】米食亡國論に就ての御話は能く分りましたが、何かそれに關して、一般的に麥が滋養的であるといふ事を示す證據となるやうな事實はございませんでせうか、お心當りがあれば、伺ひたいものです

【答】その證據は厳然として我陸海軍の兵士の食糧に現れてゐるのである

陸軍では、明治十七年に、既に糧米に麥食混用の達しを出してゐたのであるが、各隊では區々になつて居つて、一年を通じて或は支給する月もあれば、支給しない月もあるといふ

誠に不統一な有様であつたが、圖らずも日露戰役の當時に於て、脚氣病續出の實際作戰に窮つた時

不思議にも

海軍の方には脚氣患者が無いのに、陸軍の方には同病患者が多い

そこで能く〳〵調べて見た所が海軍は常に麥飯のみを用ひてゐるのに、陸軍では米食を常食としてゐた

之が主要な原因であると分つたので、俄に訓令を出し、萬難を排して、戰時中麥飯にした、卽ち明治三十七年七月以後は主食糧米に四分の一麥を混用する様になつたのである、而してその結果は、何うあつたかといふに

實際その當時の脚氣患者は千人中百十六人弱といふ多數に上つてゐたものが

現在では千人中三人乃至十七人といふ僅少な數に減少したのである。

麥飯の効用も亦大なるものではないか

斯の如く麥飯の效能が、既に顯著であるにも拘らず、何が故に

爲政當局者

は、麥飯の効用を宣傳普及しないのであるか、

一體全體彼等は、何を施設してゐるのであるか、

徒らに國産奨勵の聲を大にしても、一言麥飯普及に及ばないのは何うした譯か、

イヤ彼等は我純國産たる麥を無視除排して却て外米輸入に一生懸命になるとは何うした譯か

農商務省あたりに、外米課なんていふ一課を置いて、外米の研究をしたり、生産地へ技師を派遣したりして

彼等は血眼

になつて外米輸入に大努力をしてゐるのである、そんな隙と金があるなら、何故にヅッと手近の麥に手をつけないのか、而も彼等が外米輸入を以て唯一の米價調節策と心得てゐるに到つては

その愚や實に及ぶ可らざるものである

かやうに政府者が、既に麥を無視して、米食を奨勵する結果、國民に米食の習慣がついて了うたのである――その結果農家が麥作をしない事になる

この習慣は實に恐ろしいもので、一朝にして之を改める事は出來ないのである

大戰當時日本へ送られた

獨逸の俘虜が

日本食が喰へない、それで普通のパンを與へた所が、かやうに營養價のないパンでは、とても健康が保たれないといふて

篩にかけた麩皮を混じて製造したパンを求めた、之が彼の黑パンである、卽ち白パンよりは、麩皮を混じた黑パンの方が營養價が多いのである

かくの如く習慣された食物といふものは、容易に斷へる譯にはゆくものでない

又西洋人は能く西洋料理といへば、悉く肉のみで調理したものゝやうに考へるやうだが、實際歐米人の食卓は朝食は普通ポリッヂ又はオートミールを喰べる、オートミールとは燕麥の粥でつまり麥のお粥に牛乳や砂糖をかけて喰べるのである、それから麥食纏麵の大部分に、パンと馬鈴薯が主要食物であつて、それに肉や野菜を混じたものを常食としてゐるのである

多量の魚肉

丁度外國人が日本人を目して魚肉ばかりを喰つてゐるやうに思つてゐるのと同じである。なるほど日本人は外人に比して多量の魚肉を採るが、主要食物は矢張り米麥野菜である

かやうな譯で、國民の主要食物といふものは平生から略ぼ統一されてゐるのである

それであるから、米食ばかりして居つて、直に麥飯にする譯にはゆかない

麥の耕作に

それに又急に麥にしようと思つても麥が得られない、矢張り、平時から農村で之を作つてゐない以上急に麥にするといつた所で直に麥へる譯にはゆかぬ、且つ平時に於て、その習慣をつけて置かねばならんのである

それから衞生的方面から見ても麥飯を喰へば、お腹が空くといふ事は誰でも經驗のある事で、麥が米より消化がよいといふ事を、知らぬ者は恐らく無い筈である

それに麥飯を喰へば、常に便通がよいばかりでなく、腹工合のよい事も周知の事實である、軍隊でも統計に依れば入營後九ケ月の體重が平均一貫四五百匁殖えるといふ、それが除隊後又米食をやると、僅ちの中に元の目方に減つて了う

餅や强飯を

喰つて、腹が溜へるなどいふのは、つまり不消化から來る現象なのである

それに就て一の挿話がある、今年四國で敬老會を開いた時、高松から德島巡りをした、予は此時始めての經驗で爲に乘つたのであつた

その時の船中が除隊兵士であつた、彼等兩人の間に面白い話が出た

麥飯の話が出た

麥飯を喰ふと、盛んに放屁する、殊に夜行軍などの時は腹が强れ切つてグメ〳〵になる、そんな時に限つて盛に放屁する、あれはつかれ屁だ、あつり屁だといつて、お互に大笑をした、誰が大きいと勢ひのよい大砲のやうなやつが出る、屁が弱つてゐると

スカ屁が出る

といつて笑ふた、誠にその通りで之は理窟に叶つてゐる、麥はよく消化して、醱酵して、瓦斯が發散する、それで氣分がよくなる。

それが米食だと何うか、いつでも何となく腹にもたれて、氣分が勝れない。

此の二ツを兩々對比して見たら麥と米と何方がよいか。直に判斷の出來る譯である。

予は最後に於て、世人に警告したいのである、苟くも國民の義務を果さんが爲め、入營中の兵士が麥飯に甘んじてゐるの時世間多くの人が、米飯を採るとは、實にけしからん話でないか。

米食黨は須らく大に反省す可きである。

謹啓

時下向寒の候益々御多祥奉大賀候拙過般來靜岡、津、岐阜、鳥取、松江、松山、德島、高知、高松の九都市に於て第四回敬老會開催仕り到る處に多大の盛況を極め候事は偏に各地有力者各位が熱烈なる御援助を賜りたる結果と深く感佩仕候就ては一々御禮狀差上可申筈の處歸來匆々取紛れ居候まゝ甚だ勝手ケ間敷御座候得共茲に謹で紙上を以て御禮申し述べ併せて各位の御健康を祈る次第に御座候　敬具

十二月二十一日

有田音松

百十歲の長壽を保たせ給ふた

仁德天皇 (圖)

仁德天皇は高津の宮に在したが、或年、五穀實らず、百姓の窮乏せる樣を見そなはして、大御心を惱ませ給ひ、詔して三年の間課役を免ぜさせ給ふた、從つて宮中の御調度も事缺かせ給ふに到り、袞龍の御衣も破れざれば作り給はず、朝夕の御供も極めてお粗末なものであつた、かくて屋は傾きて雨漏り、御簾は破れて月影のさし入るを、天皇更に意とし給はず、只一途に民の疾苦を憫み給ふた。三年の後、百姓富み、竈の煙盛々として盛に立昇るのを御覽じて『天の君を立つるは民の爲なり、朕は民を本とす、民の富は卽ち朕の富なり』と仰せありて、一しほ仁政を施し給ふたので、百姓どもいや榮えに榮えて天下泰平四海浪靜であつたが、御仁慈にあらせられた天皇は、宮殿の修築をも御許しなく、この上にも民の富み榮えん事を御軫念遊ばした、百姓共は餘りの嬉しさに、此所彼所より、木材を運び、土石を負ふて宮殿修築の勞に服したので、美くしき高津の宮は日ならずして竣成を告げ、百姓共は茲に天恩の萬一に酬ゐ奉つたのである。

されど天皇御自身には、飽までも節約の範を垂れ給ひ、御調度なども、頗るお手薄であつたと古書にも記されてある。國民の辛苦を見そなはし『民の苦は朕の苦なり』と御意ありて節約を行ひ給ふた天皇は、後年國民の悅ぶ樣を御覽じていとご御滿足にあらせ給ふたのである。

申上ぐるも畏き事ながら、かやうに節約を御實行遊ばされ民の歡びを娛み給ふた、御展襟がおはしたればこそ、御齡實に百十歲を保ち給ふたのである

京城日報

（朝刊夕刊合せて十頁）

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

探偵小説傑作集

新青年 新春増刊

本誌ならでは企て能はぬ傑作選集
單行書三冊に値する内容を以て讀者に見ゆ

◆D坂の殺人事件（創作） 江戸川乱歩
◆間諜（英） エル・ジエ・ビーストン
◆シャーロック・マルフォード（米） ジョオジ・ブレグ
◆雪降る街（佛） モリス・ルヴエル
◆残りの一枚（英） エフ・ジ・ハースト
◆（戯曲）暴れ狂ふ夜（英） ケイ・ゴドウイン
◆サムの治療（米） ジイ・マツカレエ
◆意外（英） ジイ・ジョイス
◆情況証拠（英） ウイ・ウヰリアムズ
◆グラス君は何処に？（英） ジ・ケ・チエスタトン
◆老水夫の死（英） ヘドン・ビル
◆神の裁き（英） セント・ジョン・ロー

長篇小説 **運命の塔**（英）コードイル 延原謙訳
優に一冊の單行本となるべき三百五十枚の長篇 ドイルの作品中、最も怪奇的色彩に富める傑作 今延原氏の邪筆により其完全訳を全部掲載す

特別附録
▲探偵小説の主人公（長谷川天渓）
▲世界裁判奇談（小酒井不木）
▲歴史小説五十種（井上十吉）
・オルチー夫人著作目錄 本誌編輯局 ・歴史小説目錄 井上十吉 ・ジユロの謝肉祭 ファルク
■モンマルトル城門の門鑑 ■反逆者 ■Needs Must……
英國女流作家オルチー夫人の歴史小説三篇を紹介す
・岡引き案内 ・『影の人』 ・犯人の秘密結社 ・銀ピカ物語 ・四十萬フランの首飾 ・編輯局より
▲歴史的探偵小説一二三（馬場孤蝶）
▲オルチー夫人の出世作（松本恵子）
▲歴史的探偵小説の興味（小酒井不木）

定價金一円 送料金三錢 本号に限り 東京小石川 博文館 振替東京二四〇

大評判の 科學畫報 新年特大

最新科學文明號

科學文明の理想 理學士 原田三夫
最近の科學文明に對する徹底的批判之れ刻下必讀の大文字

起死回生的の新療法 ドクトル 大澤昌壽
奇蹟の再現と稱せらるゝ革命的新療法之れ病者の一大福音

無線特輯 無線電話の原理…丸毛局長 ▲一月星座早分かり ▲無線電信受話機の話…小林瀬三 ▲最新世界科學通信 ▲初心者の方々へ…栗田守固 ▲無線質問應答

最新知識
無線電波操縦の飛行船…鈴川八郎
▽強力を應用せる最新式の新發明…大竹學士
太陽熱と地下熱の利用…妹尾學士
▽珍説地球を廻る第二の月の話…山下初雄
人工で人間を作り得るか…岡部主筆
▽文明の謎コロイド化學の話…楢爪學士
空中から爆彈と肥料…木下學士

活動寫眞
物謂ふ活動寫眞…宮里良保
無線放送活動寫眞…淺井學士
天然色活動の話…伊藤學士
眞ローマンス 浮き出す活動寫眞…石井學士

本誌獨特 鮮明畫報
世界奇觀火海地獄海豚とペンギン鳥／英海軍の大アンテナ磁場と自然の比較／最新世界航空諸報 大氷河が削る深谷／奇觀巨人蟻武者振 霧が描く女神象／大推進機の圖解 明が礎になる順序／世界最大のレンズ 電話自動交換の解說／飛行機用爆彈威力 南米の綺麗帝組の川

一粒選りの實用記事
お臺所の電化の話…吉成講一
織物の鑑定法…宮里良保
野菜の促成栽培…石井勇義
天文常識早分り…小川清胤

興味津々
散り迷ふ落葉の力學…大野學士
鼻の曲りで自殺する人…弘中學士
▽▽無色透明な不思議な動物…内田學士
▽▽軍國的な昆虫の社會生活…山下初雄
水銀は何處から出るか…渡邊博士
未來の都市の夢物語…柳内吉胤

實現愈近ける放送無線 放送開始後の通信者及放送局の方針其他一切の注意を詳述す…宮里良保

第一附録 **最新科學遊戯と奇術種明し** 最も面白い誰にも出來る最新のもの十數種 新家庭第一の呼物也

第二附録 世界科學小說選 **臨終七ケ月** 催眠術により死の瞬間を防ぎ止めて其後七ケ月生ける屍の奇怪なる空前の大科學小說

本號に限り特價八十五錢◇（送料二錢） 東京市麹町區下二番町 新光社 振替東京四三二四〇番

株式會社山口銀行京城支店

京城府黄金町二丁目
電話本局 八五・八六
資本金 五千萬圓
本店 大阪市

最新刊

高橋濱太郎 實務常識株主と重役 二、六二
中野八十八著 淺史教育の新潮と教材 三、四一
澤柳政太郎著 ニジンスキーの藝術 七三
田村寛貞譯 第九ジュムフオニー 一、八九
木村数譯 アウレリマス冥想録 二、七三
那須皓著 農村問題と社會理想 二、一〇
山下芳一譯 古典經濟原哲學的背景 一、三六
成城小學校 新入學兒童語彙の調査 二、一〇
鷲山第三郎 プラトーンの宗教思想 二、六二
稲末政次郎 社會教育の理論と實際 三、六十
田崎仁義著 支那古代經濟思想及制度 七、三五
矢野目源一 ド・プレオ氏の色懺悔 一、七八
教育研究會 小學圖畫手工教授細目 三、三六

京城 大阪屋號 振替京城一五七三番 電話本局二〇八番

農村法律問題

帝大教授法學博士 末弘嚴太郎著（最新刊） 四六判上製 定價貳圓五十錢 送料十七錢

農村研究の代表的名著！

澎湃たる農村問題解決の鍵となり、農民生活の母たるべき重大なる使命を以つて書かれたる本書が、現下の日本に如何なる意義と、幸福とを齎し得るか。農民知識の進展が、現代社會と並進せざるが故に、山林、水利、小作の諸問題に相關する法律が、商工のそれと同等に整備繕補を保障されながら、法律的知識なきが故に、常に不利の境遇を辿りつゝある農民に、そして法律的準備知識なき農民に、無用の爭議の發生し、或は不當の苦しめられつゝある事態に鑑み、經世的眼光を以つて書かれたる本書が、彼等の蒙けられつゝある現下の生活に一大光明を與へ、延いて我農村の前途を心憂する識者の進展に資することの甚大なるは言を俟たず。地主、小作人も本書を一讀する事により、小作問題その他農村相關の法律的難問が釋然として氷解さるゝであらう。見よ！農民解放の爲めに發せられたる一大喜彈を！

帝大教授法學博士 末弘嚴太郎著 **嘘の効用** 卅六版 四六判上製 定價一圓六拾錢 送料十九錢

法學博士 河田嗣郎著 **農村問題と對策** 拾壹版 四六判上製 定價貳圓 送料十七錢

則天武后

柳原白蓮著（最新刊） 四六判上製 定價壹圓六拾錢 送料十五錢

現葉の女王として艶名高かつた著者が、例の三角戀愛事件より全く世と隔息を絶ち約三年間草深き奥門に閉ぢ籠りて自己の體驗せる苦き戀の思索を基調として本書を完成した。其内容は則天武后を中心とする宮廷、側室等の纏綿たる愛慾の鬪爭より血で血を洗ふ恐ろしき罪惡の繪巻きである。そして女性の持てる強き愛の魅力が權力をも、王者をも克服すると云ふ思想が經緯をなして近代女性の胸をときめかさではやまない快著である。

或兵卒の記録

細田民樹著（最新刊） 四六判上製 定價一圓五十錢 郵送十七錢

初年兵及歸休兵諸君に贈る

文壇の一寄才たる著者が、一兵卒として軍隊に入り、その三箇年の面白さ苦しさ露營、初年兵の任務、演習、愛馬等を題材として軍隊生活の内容を如實に、精緻に取扱はれた面白き小説。或有力の將校は此書を讀んでこれ程軍隊生活を如實に細寫したものは絶えてないと喫賛し、曾つて其一部は米國及獨洲で日本軍隊生活の眞相として譯出された事もある。將さに入營せんとする新兵諸君には此上なき道しるべであり、歸休兵諸君に向つては此上なき思出草として歡迎されてゐる。

目次 入營の日 最初の頃 多忙な初年兵 餞別道 ひとつの飯盒 高原の廠舎 愛馬菊水 永瀬の自殺 甘露のをけさん 初年兵江木の死 演習 凱旋

戀愛病患者

菊池寛著（十版） 四六判上製 定價壹圓五拾錢 送料十五錢

菊池寛氏は、現文壇に活躍せる勢威盛んなる活火山である。その天に冲せる噴煙は、あらゆる讀書人の注目を惹かずにはゐないだらう。本集は氏が最近の創作中より、小説の粋と戲曲の精とを蒐めたもので、就中「戀愛病患者」の如きは、氏が戀愛至上に對する猛烈なる否定を主題とし、戀愛至上主義者に對する一大痛棒をなすものだらう。小説「羽衣」の如きは、その奔放なる構想と大膽なる落筆と相俟つて、天人共に掴し去つたものだらう。その他小説戲曲十數篇、悉く快刀人の肺腑を抉ぐるが如き痛快味を藏してゐる。

目次（頸縊り上人 信康母子 [illegible] 羽衣 世評（戲曲） 丸橋忠彌（戲曲） 戀愛病患者（戲曲） [illegible]）

正宗白鳥著 戯曲 **ある心の影** 新刊 四六判上製 定價壹圓六拾錢 送料十五錢

文學博士 厨川白村著 **近代の戀愛觀** 百十四版 四六判上製 定價壹圓五拾錢 送料十五錢

發行所 東京市芝區愛宕下町 **改造社** 振替東京八四〇二 電話高輪四九九三 （圖書目錄進呈）

貴女の幸福の爲に

婦人倶樂部 新年特大號

別冊附録 **婦人出世の礎**

四六判百六十頁口繪挿畫（極彩十葉）
讀んで直ぐ役に立つ家庭實用百科全書
善美を極めた大寶典！到る處大評判！
素晴しい大附録…見逃したら大損
この體裁！この内容！これ丈で優に一円の價値がある

（左は其内容目次の一部）

◎顔の形で判る男女の合性 ▲恐るべき運命。▲耳と顎。▲顔と口。▲鼻と眼。▲富士額と男顔。▲合性の綜合判斷。

社交禮法 處世の要訣
◎處世と社交禮法 ▲婦人の本務。▲社交の實例。▲婦人の社交。▲處世と女子。▲社交の三種。▲禮法の三種。▲禮法の要旨。▲處世の要訣。
◎言葉遣ひと坐作進退 ▲婦人の言葉遣ひ。▲言葉の美化、巧な敬語。▲對話の進行。▲態度動作の注意點。▲婦人の身嗜み。▲要は誠實に。▲心を籠めて親しげに。▲流行に就いて。▲損も得も此一點。▲人柄をうつしたい。
◎訪問應接と社交の心得 ▲訪問の成功と失敗。▲玄關先での注意。▲來客の迎へ方。▲好感を與へる接待。▲お茶と煙草。▲主人不在の場合。▲決して怒らぬ工夫。▲贈物の贈答品。▲良人の社交を助くる妻の手際

最新研究 美容の祕訣
◎必らず美人となる化粧法 ▲皮膚を美しく。▲化粧栄する秘訣。▲濃化粧の仕方。▲化粧くづれ。▲面長の人化粧法。▲丸顔の人の化粧法。▲眼を美しく見せる。▲手の化粧法。▲夜の化粧法。▲見合の時の化粧法。
◎人の氣付かぬ簡單な美容法 ▲色黒の人は。▲鼻の白粉を上手に。▲白粉の斑を取る。▲水なしで白粉を落す。▲水を使はぬ洗顔法。▲白粉くづれを直す。
◎特殊な技巧を要する化粧法 ▲ソバカスに悩む人。▲ニキビの手當化粧法。▲白粉やけのせぬ法。▲髪の手入。▲唇を美しくする法。▲顔面筋肉の運動
◎中肉中脊の美人となる榮養法 ▲肥える食物。▲瘠せる食物。▲食物の選擇法。▲食物の配合法。▲瘠せる方法。
◎眼を美しくする醫學美容法 ▲一重瞼が二重に。▲睫毛を長く美しく。▲眼を大きく形を直す方法。あから顔。
◎美容の欠點を補ふ醫學新療法 ▲脱毛症の療法。▲年若で禿込む病氣。▲吹出物で困る人は。▲皮膚の欠點を直す。
◎鼻の形をよくする新方法 ▲どんな鼻の形にも。▲手術の時の注意。▲手術は簡單。▲どんな人に手術を要するか。

嫁選み婿選み 良縁の栞
◎良縁の手引結婚の要訓 ▲結婚の意義。▲理想の結婚生活。▲戀愛結婚とは。▲配偶選擇標準。▲門地か愛か。▲趣味の接近。▲財産と家庭。▲無智無學の美女。▲人生の一大事。▲年齢の差と健康。▲圓滿なる結婚生活 ▲悲慘なる實例

趣味娯樂 家事萬般の心得
◎音樂の趣味と茶の湯生花 ▲音樂の味ひ方二種。▲音樂と國民性。▲聲樂と樂器。▲獨奏と合奏。▲樂曲の形式。▲茶室の裝飾。▲お茶の飲み方。▲生花の急所。
◎日用品、台所重宝記 ▲醤油の見分け方。▲味噌見分け方。▲穀類の鑑別法。▲魚肉獸肉の見分け方 ▲牛乳の鑑別法。▲各種燃料の見分け方
◎衣類の手入と洗濯の仕方 ▲衣服の取扱方。▲夜具のしまひ方。▲洗濯の仕方。▲絹物洗濯の注意。▲メリンスの洗ひ方。▲毛織物を洗ふには。▲麻織物の洗濯法。▲洗濯の仕上方。
◎手際のよい掃除家具の手入法 ▲室内掃除。▲家具手入法種々。▲陶器と漆器の手入法。▲便所の臭氣止め除法
◎家内の取締りと室内裝飾法 ▲戸のすべりをよく。▲非常時の心得。▲年中行事。▲室内裝飾法。▲床の間の裝飾法。▲繪の見方。
◎蓄音器の扱ひ方カルタ必勝法 ▲蓄音器の保存法。▲カルタの必勝法。▲實戰段技の要要。▲讀み方。
◎興多き運動の見方と上達法 ▲野球の見方。▲庭球の見方と上達法 ▲庭球上達法。▲卓球上達法。

治病健康 家庭醫學
◎内科諸病治療の急所 ▲頭痛の療法。▲腦貧血の豫防と手當 ▲腦充血の手當。▲神經衰弱の治療法。▲肺結核の豫防法。▲下痢の療法。▲蛔蟲の驅除法。▲風邪に罹らぬ工夫。▲中耳炎、耳漏の療法。▲常習便秘療法。
◎產科婦人科の簡易療法 ▲分娩の時の用意。▲分娩の徴候。▲產褥時の注意。▲乳房の衛生。▲乳房の凝り。▲月經不順の手當。▲血の道の療法。▲コシケの療法。
◎小兒科一切の手當と治療法 ▲腹膜炎の看護法。▲夜驚症の療法。▲百日咳の療法。▲寝小便を直す法。▲幼兒疳癪の應急法。▲小兒の異常を知る法
◎眼科の手當と治療法
◎花柳病傳染病の豫防治療
◎應急手當法
◎家庭看護法及諸攝生注意 ▲病室の準備。▲濕布の當方種々。▲繃帯の巻き方種々。▲着廻りの消化。

上品で實用向…面白くて爲めになる **婦人倶樂部新年特大號**
人氣評判此一誌に集る！ 大好評大歡迎!! 賣切れぬ中少しも早く…これだけあつて定價僅に壹円（送料六錢）
東京本郷 大日本雄辯會（振替東京三九三〇）

商業登記公告

一、株式會社（設立）商號株式會社平壤キネマ○本店平壤府 [illegible] 番地○目的活動寫眞其ノ他 [illegible] 大正拾參年拾貳月參○日 [illegible]

平壤地方法院

商業登記公告

淮陽金融組合（變更）[illegible] 大正十三年十二月二十日 [illegible]

京城地方法院 淮陽出張所

商業登記公告

一、朝鮮農事株式會社（變更）[illegible] 大正拾參年拾貳月 [illegible]

平壤地方法院

商業登記公告

東洋拓殖株式會社（變更）[illegible] 右大正十三年十二月二十七日登記

全州地方法院 裡里出張所

商業登記公告

一、東洋拓殖株式會社（變更）[illegible] 右大正拾參年拾貳月五日登記

全州地方法院 裡里出張所

商業登記公告

一、株式會社（設立）[illegible] 右大正拾參年拾貳月拾參日登記

平壤地方法院

登記公告方

大正十四年中當院及管内各支廳並ニ各出張所ニ於テ取扱フ商業其ノ他法定ノ登記公告ハ京城府ニ於テ發行スル京城日報ニ掲載ス
大正十三年十二月

全州地方法院

民意を尊重せざる善後會議に反對
國民黨の緊急會議

【廣東五日發電】孫文氏の病氣に依り國民黨は四日夜緊急會議を開き左の如く該時局態度を決定し之れを發表した

一、民意を尊重せざる善後會議に反對す
二、憲法を廢棄し臨時約法を復活す
三、委員制度に反對す
四、廣東政府の名稱は國民會議召集まで取消さず

右に關し胡漢民氏は孫、段兩氏の意見が接近したから兩氏共に折衷せる豫備會議の成立を見やうと言つてゐる

聯省自治の形式て一先づ統一されやう
◇…何天炯氏の時局觀

【廣東五日發電】政界を退き將に時局を觀望せる何天炯氏は語る 孫氏の大策は必ずしも段氏と一致する譯でなく兩者完全なる握手を見る迄には尚相當の時日を要するであらう段氏は陳炯明氏を利用して孫氏の主張を牽制せんとし孫氏は飽迄國民會議召集を主張して兩者は綱引を爲してゐるが結局國民會議と善後會議を折衷せる形式にて三ケ月以內には自然的聯省自治の形式にて一先づ支那は統一されるものと信ぜらる云々

初閣議
常面の問題を協議

【東京電報】十四年度の初閣議は六日午前十時より永田町首相官邸に開會（横田、仙石兩相缺席）先づ高橋農相より報告、鐵道會議の委員增加に付提議をなし從來の鐵道會議の委員は農商務大臣、委員農商務、大藏兩次官の外に鐵道大臣の委囑する六名の委員を三名增加して九名となすことに決定、次で議會に提出すべき會計檢査院法中改正法律案を決定したる後、當面の問題たる義務教育費增額問題、貴族院改革問題等に付き各方面の情報を齎して協議を重ね午後一時散會した

山縣答禮使
外相を訪問す

【東京六日發電】佛領印度支那への答禮使山縣伊三郎公は六日午前十一時外務省に幣原外相を訪ひ佐分利通商局長とも會談し諸般の要件に付き打合せをなした

朝鮮産業界の……◇進むべき道
經濟的帝國主義に就て

總督府殖産局長 渡邊豐日子

有史以來未曾有の慘禍を極めた世界大戰爭の餘燼は今尚依然に至らず列國は何れも共に其復興に焦慮しつゝあるは勿論であるが、更に進んで將來に於ける國力發展の素地を作るべく孜々營々たる有樣である英國に於ては從來より領土的若くは政治的帝國主義の主張者であつた保守黨が最近天下を執るや本國と殖民地との經濟的連繫を緊密にして內國力の充實を圖り以て外に對する他日の大雄飛を計畫しつゝあるのである

米國の如きも戰時非常に膨脹したる國家財政を二百三十億弗の巨額より一躍三十三億弗に減じ之に依つて民力の涵養を計ると共に更に產業方面には大いに力を用ひ自國內に於ける產業の發展を圖るは勿論、戰時の進出を機として年々四五千萬弗の輸出超過を今日尚持續しつゝある程で更に餘力を南米及極東方面に延ばしつゝあるは他の世界列強がより以上に戰後の痛手を受け疲弊せるに乘じその未だ恢復せざる間に南米及び極東方面に未來の商權を確立すべく今や隙ずべきの方策一として實行さざるなきの有樣である。獨逸、佛蘭西の如き戰爭の餘禍甚だしき爲めその經濟的活動は未だ英米のそれの如く顯著ならずと雖も其志す所は全く同一である されば今日の世界は十九世紀に於ける領土的若しくは政治的帝國主義より離脫して今や經濟的帝國主義に移りつゝあるものと斷言する事が出來る

以上の如き世界的趨勢に際して我帝國の執るべき方針如何、即ち內は冗費を節して大に節約を計ると共に一面そのあまし得たる所の資金を產業方面に轉用し大に生產事業の發展を策し列強との競爭に勝を制する準備がなくてはならぬ今や政府に於て行財政の一大整理を斷行すると同時に斯かる財政緊縮の際にも拘らず產業方面に對し相當の施設を擴らざるは恐らく此の世界の經濟的帝國主義の競爭に備へむがためであると信ずるのである

世界列強の一に位する日本帝國の執るべき方針が叙上の通りであるとすれば帝國領土の一部たる朝鮮に對する政策も亦自ら其軌を一にすべきは今更喋々を要しないのである即ち一面に於て財政の整革を計ると共に他面に於ては大に產業を振興し以て國利民福を增進すべきは論を俟たないのである

元來我朝鮮は天惠乏しきにあらざるも多年秕政の後を受けて產業は萎微振はず一部の人々を除きたる一般經濟生活は常に飢に泣くと云ふ有樣であつた故に總督府施政以來殖產の方面に取り改革を斷行せられたが就中農業の發展は從來經濟の苦しみの中に呻吟しつゝあつた人々を救ふ第一の要諦であると認め歷代總督大に力を之の方面に注がれた結果今や治績大に見るべきものありて各種生產物の數量の增加と品質の改良は申すに及ばず年々の輸移出入貿易の如きも驟る勢ひを以て增加したのである されば總督政治に幾分の不平を有する人士と雖も產業方面に於ける此發達の事實を否むるには躊躇するであらう

齋藤總督赴任以來一時騷擾を逞したる民心の安定を計ると共に一面產業の開發を圖り常識の事業は著々實行せられたると共に更に大に將來の大發展を策すべく產業調査會を開き向ふべき大方針を確立して大に產業方面に鑑すあらむとせられたるが時恰も經濟界の不況に際し折角の計畫も一部分を除く外實施するの機會なき有樣になつたのである下岡政務總監赴任以來政府の大政策に順應し一面大に行政の整理を計ると共に產業第一主義を標榜し內地より工夫して持來たる資金とを合して朝鮮產業の大發展を期せしめらるゝこととなつたのは誠に半島現時の窮乏を救ふは勿論將來の發展を持來たす處きあつて世人の大に政務總監の勞を感謝し措く能はざる所である。

大石南山氏試筆

最近の社會運動（上）

警保局長 川崎卓吉

一

近時我國に於ても、各種の社會的運動が勃興し、漸次擴大せんとしつゝあるは注目すべき現象である。國家、社會の永遠なる進化の過程に於て、各種の國民的運動が發生し社會的運動の起るは當然のことなかるべしと信ずる、果して然らば、此の世界の潮流、趨勢に對して我々日本國民は如何なる態度を採るべきや之れは現在及び近き將來に於て大切な問題であると思ふ

云ふまでもなく世界の文明の進運に順應することも必要である。各國文化の長を採るといふ事も亦必要である。併しながら、若し徒らに之等の思潮、趨勢を盲信し追從するとせば其結果や如何『思想』混せる勢い國是、國體を考ふるとき自ら時局に處するの途は明かであり、各種の國際的運動に對しても其則るべき限界が決せらるゝ所謂ミイラ取りがミイラになるの感なからしめたいものである

三

現時の社會の狀況を直觀するに私は思ふ。民論、輿論と其の是非の批判を離して盲從を信ぜられる多數の力、團體の力が著しく過大とせねばならぬ。正しき主義に從て、正しき方法に於て行はるゝ運動は喜ぶべきことに屬する、さりながら、我國に於ける現時の社會運動の狀態に鑑みても尚然るや否や、私は幾多の遺憾の點あるを思はざるを得ない

二

現下の我國に於ける社會運動としては先づ社會主義運動と勞働運動とを擧げ得る、其他に於て、農村運動の如きは勞働運動と其性質を異にせるも之に類似するものであらう。社會主義的運動と相對抗するものに愛國主義の運動もある其他に於ても社會的運動と目すべきものもある。然し社會主義運動と勞働運動とは我國に於ても社會運動の中心となつてゐる樣である而して此二運動の勃興は近代に於ける世界的の潮流であつて、近時愈々國際化せんとするの傾向を現しつゝあるは爭ふべからざるところである。

彼の十九世紀の後半、マルクスバクーニン等を中心として運動を興せる所謂第一インターナショナルを端緒として、爾來第二、第三インターナショナルの運動となり、勞働者國際會議となり、之に繼する赤色勞働組合インターナショナルの如き何れも社會主義運動と、勞働運動との世界化、國際化を企圖するものであるが此のインターナショナル運動は將來と雖も益々發展をおうて進むべきものと考へて誤り「學問に國境なし」「勞働者に祖國なし」といふが如き極端に走り、遂に國家、社會を破壞せしむるに至るべきは明かなりと思ふ」

茲に於いて我等は聊かに、將來に處するの餘裕を持たねばならない。我等は光輝ある建國二千有餘年の日本民族の歷史を追想するとき、祖先に愧ぢせらるゝの傾向がありはせぬかと前申し述べたる如く、正しい方法に依る輿論、目的と手段とに於て正しい團體運動、多數運動はもとより文化進展の缺くべからざる要素であらう、さりながら目的と手段とその何れかに於てたゞしからざる場合、殊に暴ある場合に於て、其の弊害は團體運動となつては益々增加せらるゝ虞れがある。」

一◇金森觀陽畫伯試筆◇一

働け千七百萬民
而して實力を養へよ

總督府商工課長 安達房治郎

朝鮮の産業は吾が朝鮮人同胞の能力により、初めて開發し得るものと信ずる。凡そ產業の發達には二つの條件が必要である、即ち資本と勞力との協力作用が夫れである、而して朝鮮は現に一萬四千三百餘方里の土地を有し人口一人當りの天惠資源の割合は內地に比し遙かに潤澤であつて朝鮮人は夫れだけ

多くの天恵に浴し

富裕なる資本を擁して居る譯であるが年々の國內に於ける生產力は未だ極めて貧弱であつて內地に於ける人口一人當りの割合に比すれば僅かに其半にも達して居らぬ即ち國民は現實に無限の財寶を藏しながら尚經濟的に苦しんでゐると云ふ有樣である此現狀は明かに天產資源に對する其土地住民の無氣力を意味するものであつて如何に朝鮮人自身が經濟的活動に立遲れてゐるかを立證するものであると思ふ尤も人或は言はん朝鮮に於ける產業の振はざるは勞力の不足にあらずして資金の缺乏に原因するものであると然れども元來資金は低きに附く水の如きものであつて其地方に天然資源が豐富であり同時に勞力の供給も亦十分であれば

資金は自ら其處に

集中すべき筈である朝鮮が合併以來世界的經濟界の潮流に伍して十有餘年を經過した今日に於ても猶潤澤なる資金を吸收し得ざることは畢竟朝鮮人自身の經濟的活動力即ち勞力、智識及訓練等の不足に歸せねばならぬと思ふ試みに現在千七百萬餘の人口中果して幾何が真に產業方面に從事しつゝありや其技能及能率の程度を考へたならば蓋し思ひ半ばに過ぐるものがあらうと思ふ、由來朝鮮では勞働に從事することを尙しとせずと云ふ風習が行はれて現今の青年子弟でも產業方面の職業に從事する事を嫌ひ官吏とか教員とかの所謂擬生產的の業務に就くことを希望する傾きであるが自分は其何の故なるや解釋するに苦しむ若し

朝鮮の民衆が眞に

自分の郷土を思ひ何が朝鮮の爲に最も急務であるかを考へたならば此謬見は立どころに氷解せらるゝと思ふ、然らば何が朝鮮に於ける最も急務であるかと云はゞ私は朝鮮人自身の實力を養ふことであると思ふ、即ち言葉を換へて云はゞ此土地の天惠資源を開發して其の民土を富裕ならしめ以て朝鮮をして完全に經濟上自立せしめることであると信ずる、昔から衣食足つて禮節を知ると云ふ諺がある生活の安定が人生最後の目的であることは何人も拒む事ができぬ特に民族の消長は其經濟力の消長に依つて決せらるべき事は既に古今東西の歷史を通じて明かに證明する所である從つて朝鮮民族將來の運命如何も亦此經濟的活動力の如何によりて定まるべきものではあるまいか

此の前提より考へ

來らば我朝鮮に於ける目下の急務は實に產業の開發にありと云はねばならぬ而して產業の開發には先づ第一に人の力が必要である即ち千七百萬の民衆が自覺し農工商各方面に亘り其活動を開始することである既に朝鮮には前述の如く豐富なる未開の資源が備はつてゐる當局も亦產業第一主義を標榜して各種產業の向上を奬勵してゐる當局既に機會へ民衆之に呼應したならば我朝鮮の產業は茲數年を出でずして必ずや觀るべきものがあると思ふ此時働け千七百萬民の叫びは實に此朝鮮民族の興隆を決すべき第一要點であらねばならぬと思ふ私は敢て此際朝鮮人諸君に對し

長煙管を捨て白衣

を脫せよとは云はぬが一般民衆が勞働の最も神聖であることを十分に理解し我朝鮮民族將來の爲めに老幼男女を問はず產業開發の爲めに奮起活動を期して止まないのである數年前巴里に於ける國際會議に於て當時の伊太利首相は伊太利は歐洲諸國の中で一番天然の資源に乏しい貧弱の國であるけれども國民は伊太利唯一の財寶であつて其勞力により今日の伊太利を維持し將又將來の發展を期するものであると云ふたことがある、又最近の新聞に依れば現伊太利首相『ムソリーニ』氏は從來伊太利に於ける各工場の勞働時間八時間制を十時間に改め二時間の延長勞働力を以て戰債による國債の償還に充つべき訓令を發したと傳へて居る、之を觀ても如何に

勞働が致富の條件

であり人生繁榮の根源であることが分ると思ふ、私は朝鮮民衆の爲めに再び茲に『働け千七百萬民』を高調し新年の辭に代へ度いと思ふ

日本製粉工場敷地
仁川驛裏に決定

朝鮮に於ける麥粉の需要激增と共に近時一般製粉業者の食指動き從來の滿洲製粉會社に日本製粉會社の分工場設置案となり目下同社とも交涉中なるは既報の通りであるが日本製粉會社では年頭同社重役高木武氏の入鮮となり專ら敷地を仁川方面に着目し仁川府及同地有力者側と種々交涉中の所五日午後の會見に於て愈々仁川驛裏の尾島突堤左側船渠約三千坪を埋立して建設することに決定し仁川府に於ても極力便宜斡旋を圖る筈であるが高木取締役は敷地內定と同時に一方滿洲製粉との合併用務を帶び六日夜歸社したが遂に工場設置を發表した滿洲製粉側でも此報を得て俄に活動を開始し至急中非取締役の來鮮を促し一兩日內入城の豫定で之れと同時に敷地及諸般の計畫を進むるものと觀測されるが懸案の滿洲、日本兩製粉の合併問題は製粉の供給狀態及日粉の勢力より見て或は買收形式を執るであらうと

憲法に違反せぬ
政本黨の義務教育費增額案

【東京電話】政友本黨が休會明け議會に提出すべき義務教育費國庫負擔增額法案は憲法違反なりと政府筋の主張するに對し本黨側幹部は憲法上政府に豫算提案權あるは勿論なるも之に動搖を招來する法律案を提出するは豫算提出權の侵害とはならない、若し反對黨が豫算案を提出して政府の豫算を擾亂せんとするは正しからず、政本黨の提出する法律案は斯かる性質のものにあらず議會に政府と意見の相違にて紛糾

張氏歸奉に決す

【天津五日發電】張作霖氏は目下天津に駐留せる奉天軍の大部分を率ゐて六日夜七時發臨時列車にて歸奉に決した

創作 人生（一）

長田幹彦

樺太丸が樺太の眞岡港を出て能登呂岬へ差しかゝつたのは、もう次の日の夕暮れであつた。僅九百噸に充たない貨物船ではあつたが、定期船もそろそろ終航に近づいた昨今のことゝて、南へ歸る渡り鳥のやうな便乘者が隨分澤山あつたので、皆は甲板のすぐ下にある艙の一部へアンペラを敷いて、そこへ各自持つて來た毛布なぞを敷いて、ごろごろ寢そべつたり、丸座になつて酒を飲みながら馬鹿話をしたりしてゐた。いづれも出稼ぎの勞働者かさもなくば漁場の利權をあさつて歩くイカサマ師といつたやうな手合で、すらりと眞直な人間は殆ど一人もゐなかつた。濃い煙草の烟は濛々と渦卷いて、殊にその艙には鰊魚をしこたま積込んでゐるので、その臭氣と云つたらなかつた。

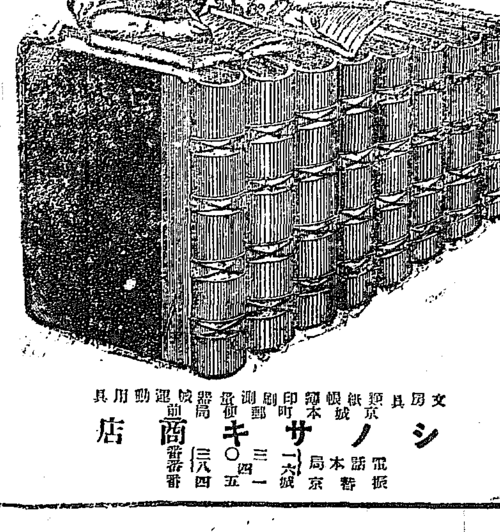
その便乘者の中にたつた一人、隅の方の薄暗いところへ坐つて、腕組をしたまゝじいつと石像のやうに身動きもしない男があつた。それはまだ二十四五の、いかにも愚鈍さうな顏をした若い勞働者で、身には糸の擦り切れたジヤケツのやうなものを着て、それでもその上へには古外套を羽織けてゐた。長い間現地へ入つて働いてゐたものとみえ、顏は日に燒焦んで、節太な手はがさがさになつてゐた。これから故郷へでも歸るのか、小さな行李を一つ片寄せて、それへ凭りかゝつてゐた。

彼はもう船に乘ると直ぐから、そこへ陣取つて便所へいく他は滅多に立ちもしなかつた。食事のときにも、バケツで運んで來る冷えきつた麥飯を三杯ほど食べたきりで、又じいつと腕組をして、うつとり考へ込んでしまつた。時々ポケツトの中からバツトを取出して吸ふが、それも惜しみ惜しみ數へる程しか吸はなかつた。

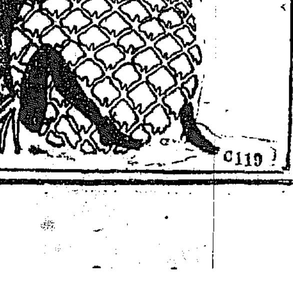
今迄舷窓から斜に射し込んでゐた日の光りも、いつの間にか向ふ側の舷窓へ廻つて、そこいらが急に薄暗くなつて來た。とみると、滔々たる波路の果てには、雪を被つた西能登呂半島の山々が蜿蜒と連亘して、眞紅な夕燒はそのうへにまるで錦のやうに美しく靡いてゐる。海は珍しい程凪ぎてゐるので、その夕燒の影は燃えるやうに水面に落ちてゐた。

公會私會

◇法政學校名刺交換會 京城法政學校に於ては五日午前十時より新年名刺交換會を開催したが出席者約百名に達した


既製帳簿類品揃
和式洋式 在庫種類 五十餘種
カタログ進呈
京城市內御申越次第參上可仕候
文房具 紙類 帳簿 印刷 測量器 製圖 運動用具
京城本町郵便局前
シノサキ商店
電話本局一六一 三三四〇 振替京城三八五番

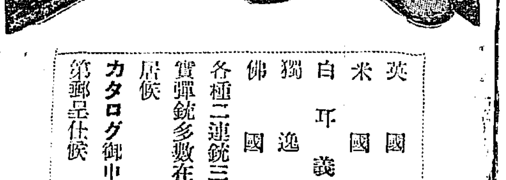
日鮮起業株式會社
物產陳列 貿易取引 販賣紹介
日鮮間に於ける產業及貿易の發達振興を圖る爲め（一）產業及貿易に關する調査研究及宣傳（二）貿易及商品の販路開拓、取引紹介又は委託販賣（三）特に朝鮮に於ける名所舊蹟風俗習慣に關する模型、標本及商品見本の陳列。
東京日本橋人形町通日鮮會館內
出品及販賣規則申込次第進呈
日鮮產業獎勵部

罐詰
日之出印
スライスパインアップル
うまいく南國の果物が獨特の方法で上品な輪切りにして入つてゐます

大阪市西區阿波座上通四丁目 株式會社 祭原商店
C119

◎男女贈答品撥ひしいく珍品揃ひ
▼書畫
各國名家高名日賀錄入 前金御取扱
五十錢送金次第當商會切手す一割增
大阪市外天王寺三二八番地 三光社

テツモウコンクリート

川崎の網を塗り混凝土を強む（說明書進呈）
早く・廉く 耐火耐震の家が出來る
東京芝區田町驛前 川崎工場 出張所大阪北區道本町
◇土質改築の便法二册金拾錢 ◇但新聞名記入あれば無料謹呈


英國製 米國製 白耳義製 獨逸製 佛國製
各種二連銃三連銃 實彈銃多數在庫致居候
カタログ御申越次第郵呈仕候
鶴林商事株式會社 銃砲火藥部
京城府大和町一丁目 電話一八一番 振替口座京城三一三番

朝鮮名物 晋州の鬪牛

山下晋州郡守談 —(上)—

晋州に於ける鬪牛の起源に付いては確爲文獻の徴すべきものがないから詳細の事は分らぬけれども餘程古き以前から行はれて來たものであると云ふことは間違ひない事實であらうと思はれる夫れ今から其の頃には晋州城内南江の右岸に一大牛市場があつて毎月三八の日に畜牛の賣買非常に盛んなりし關係上自然に鬪牛が行はれたもの丶如く認められる

今から四十年 前即ち明治十七年頃に至り當時晋州に於ける城内の富豪たる金某波と同城外に於ける富豪の與作之と云ふ兩人は何れも畜牛を愛し常に優良牛を飼育して双方之を誇りとし互に優劣を爭ひ居つた關係上茲に初めて双方合意の上鬪牛を公然開始することとなつたので城内の住民は金某の牛に城外の住民は與作之の畜牛に互に聲援することとなり結局城内と城外との勝敗の如くなりて此の鬪牛が甚だ盛況を極めたのである。是が元となつてそれ以來一般的に鬪牛が盛大となり

毎年四月八日 同七月十五日同八月十五日十六日十七日に定例として行ふこととなつた但し八月十五、十六、十七の三日間の鬪牛の場合は第一日たる十五日は晋州邑内十六日は晋州の隣接面たる道洞面に十七日はその又隣接面たる琴山面に於て行ふを常としたものであるが當日は近郷遠在からの見物は實に數萬に上り地方に於ける農民の娛樂の最たるものであつたことが窺はる丶のである爾來明治三十年頃に至りては晋州在住の内地人亦之に共鳴し

優勝牛に對して 相當の賞金を與へたことがある許りでなく時の郡守に於ても鬪牛が畜牛改良上有益なりと認め優勝牛に對し農具や食器又は金員を以て施賞されたことがあつた關係上一層鬪牛は地方民をして熱狂せしめ益々盛大となつたのである前述の如く鬪牛は年と共に盛になりつ丶ありたるに拘らず大正八年例の萬歲騷擾勃發以來警察官憲に於て民衆の集合を禁止せられた關係上數萬の觀衆を熱狂せしめた此鬪牛も自然許されず遂に一頓挫の已むなきに至りたる次第であるが最近即ち大正十二年八月に至り朝鮮總督府に於て畜牛奬勵の意味に於て古來朝鮮に於ける名物の一たる晋州の鬪牛の狀況を

活動寫眞にして 一般に觀覽せしむることは極めて有利なりとして之を實寫せられ他の畜業の狀況と共に畜業の卷なる『フイルム』を作成せられたが原動力となり爾來地方人士の熱望は茲に當局の諒解を得て初めて復興し今や又盛ならむとする狀況である鬪牛として興せらるる畜牛は無論牡牛であるけれども別段に鬪牛用として育成せられたものはなく比較的優良なるものを選ぶものであるが今其選擇標準を示せば大要左の通りである

一、鬪牛の年齡は六、七歲を最適とす
若齡若くは老齡は何れも忍耐力に乏しきを以てなり
二、四肢及關節の充實せるもの
を向ふ而して脚は長からず又短からず中庸を得たるものを可とす四肢及關節強弱は踏張力に至大の關係あればなり
三、蹄も堅牢なるもの
四、頸の充實せるもの
五、角の形正しく少しく前方に向ひたるもの
六、前軀の發育充分なるもの
七、胸圍及骨格の大なるもの
八、營養の充分なるもの

御懷姙のおあるさ 攝政宮妃殿下

持ち越された事件 兩法院で千餘件

人は減つて事件は殖えた お正月早々大多忙

本年末大異動で殆ど手がつけられず正月に持越された京城地方覆審兩法院の民刑事々件は夥しく切れ手段を突破して居ると言ふ有樣である地方法院の民事裁判事件は一、二三部を合せて約四百件刑事々件は豫審檢察部を合せて約六十件で都合五百件餘りが持越されて來たその內刑事々件の主なるものは八日に公判開廷となる鐵原郵便局長殺人事件同じく十日の傷害致死事件其他宋秉畯事件等其他の京城を騷がした大連郵便局の事件其他府內の郵便所を騷がした犯人野內其の詐欺逃走事件等相當に世間を騷がしたものが幾分ある覆審法院では民事々件が五百件刑事々件が約二百件位ある中に扱ふ民事々件は千二百件位だと言ふから此狀態では既に正月早々一年の三分の一以上の事件が殆ど手を付けずに持越されて居る譯である同院では六日から新任の判事達をはじめ一同眼を逆にして仕事に取掛つたが行政整理で人は減る仕事は反對に激增した今年はとても忙しいと言ひ合つて居る

て居た大窃盜犯の主犯者だと言ひ未だ搜査の關係上發表されない

府內の 極貧者

乞食が四百名

京城府內に於ける極貧者調査に依ると乞食四百十二名此內老死又は廢疾の慣れありと認むる者八十九名その外一戸を構ふるも生活困難の者數百名ありと雖も其內著しき者二百戶六百四十六名にして本町署管內最も多く次で鍾路、龍山、西大門、東大門署の順序である

本社主催 全鮮歌留多大會

期日 來る十八日午前十時
場所 黃金町武德會館
會費 金壹圓(但粗餐呈上)
申込 來る十五日締切
賞品 一等より金銀銅賞牌並に副賞品

◇大會競技規約
例年の通り現行東京歌留多協會の規則を準用し細目に亘りては各派より三名の大會審判委員を選出し協議の上解決す

◇優勝旗贈呈
當日競技前京城風會の優勝旗返還式を擧げ競技終了後優勝者に優勝旗贈呈式を舉ぐ

復興の魁けして 新裝を整へる東京帝大

赤煉瓦の建物は廢たれる

東大の前を通る者は殆ど無慘な震災の災害を受けた建物の殘骸を曝した跡へ前とは全く趣きを異にした新式の洋館が續々と建られてゐるのに眼を見張るだらう—復興よりも寧ろ新生への路を急ぐ東大—其處には外觀たる建物が前の物と全く違つた姿を發見すると共に其中に盛られる教授や學生の精神狀態も新時代を指導するいはゆる文化指導の役目を果すべく努力してゐるのである帝大學部の社會科學新設提唱、法工兩學部の學制改革提唱其他各部に夫々雜誌や『パンフレット』の發刊をして新しい要求に應じようとしてゐるさて大正十四年に入り新裝を整へられる東大の內の建築物に就いて復興建築の設計の大任に當りつ丶ある內田工學博士は語る『建築で豫算が不足して思ふ樣な進捗を見る事の出來ないのは遺憾であるが復興以前に既に決定した所の諸建物は御覽の通り盛んにやつてゐる正門の內右側に建られた工學部陳列館へ並んだ色の感じの好い洋館で目下建築の醫學教室と事務室の延坪千七百坪が大正十五年の夏完成する之には講座も出來るから今迄は雨の降る時など教室が無くてこまつてゐる教授學生たちは之を待焦がれてゐるそれから十四年の夏頃迄に竣工する建物では先づ工學部新館の後に應用化學の延坪千二百坪四階建の建物が入る又理學部の耳鼻咽喉科及皮膚科外科で之も延坪千二百坪の三階建文學部前に建られるのは物理學教室と共通講義室で二三年前に決定した高等精神學教室鐵骨で作られ延坪六百坪の四階建鐵骨コンクリートの新式建物である又前田邸の所には五百坪の東洋學科教室三階建が出來るが中心建物たる安田講堂は延坪二千三百坪四階建の鐵骨コンクリートで仕上る而して復興計畫の大建築は十七年完成の筈の赤門正門の間に圖書館の一高跡に農學部及前述の正門法經文講義室等である』と尚安田講堂は大學で帝大名物の一大偉觀たらしめんとの考へで八階塔の上に一里を照しても見える大時計を上げ其上に塔を建て松本、瀧の三文學部教授と工學部伊藤博士を建築委員會の顧問委員に擧げ玄關委員會の大體下及便殿に壁畫を用ゐる事とし小杉未醒畫伯は『土』『泉』『成熟』の三部作を藤島武二畫伯は『眞』『善』『美』又は『智』『仁』『勇』の課題で畢生の大作をなすべく目下努力中である(東京電報)

南京騷擾 邦人被害

南京に於て十二月三十一日齊燮元の舊部下たる二ケ小隊は市內各所の商店に闖入して掠奪を始め日本商店の被害二、三あり、邦人は目下領事館に於いて保護中である(其筋着電)

年末年始の 犯罪は尠い

年末年始にかけての犯罪事件は警察當局者が必死となつて警防に努力した結果非常に少く大晦日の如きは僅に窃盜一件ありたるのみで其他の年始にかけても豫想以上に少く火災の如きも例年の比にあらざる被害少き好成績を見たと

十二月中の 活動映畫

八百五十卷 四十五里半

十三年十二月中に於ける京城府內の活動常設館の映畫は新派百二十六卷の九萬五百八十五尺舊劇百四十五卷十萬九千八百四尺、洋劇五百七卷三十三萬八千五百二十五尺喜劇四十一卷二萬三千七百二十三尺、實寫三十卷一萬九千九百二十九尺合計八百四十九卷五十九萬五百六十六尺里程換算四十五里二十町餘であつて團成社の百八十二卷十二萬三千百二尺が最も多くそれに次いで朝鮮劇場、喜樂館、大正館、優美館、黃金館、中央館、京龍館の順序である

江戸の華…… 晴の消防出初式

六日宮城前の壯觀

陛下こめたる千代田城を背景に今六日の東京消防出初式は午前十時から宮城前の大廣場で擧行された六十三臺のポンプ、千六百の消防員は騎馬せる太田總監の檢閱を受け分列式あり、終つて江戸ッ兒式の木遣、消防夫の行列あり時恰も所澤飛行隊のアストラ飛行船其他二十餘の飛行機は式場の上空に飛來して宮城を巡回し數度か旋回飛行を爲し晴れの出初めに一段の壯觀を呈した(東京電報)

朝から御寢まで 洋裝の女王 丑歲うまれの 佐和子殿下

◇北白川宮佐和子女王殿下は大正二年十月二十一日の御誕生、丑年生れで明けて十三の春をお迎へになつた、大正十二年四月パリー郊外で奇禍に遭はれた故成久王の第二王女で女子學習院の中期一年(初等科四年を終へて入る)に在學、受持の助教授長瀨ゆき女史の薫陶を受けて居られる、姉宮の美智子女王樣は明けて十五、中期の三年で毎朝お揃ひで睦まじく學校にお通ひになりお歸りも大抵自動車で御一緒と承はる

◇高輪南町の御本邸では姉宮と御一緒に毎日放課後幸田延子女史について二時間ほどピアノを御練習になり、學習の餘暇には英語を御勉強なさる、音樂會展覽會などに姉宮樣と御揃ひで御成りになることは人のよく知るところ

◇姉宮樣の溫雅でおはしますに引きかへて佐和子樣は至つて御活潑で學校がひけて御歸邸になつても大抵は御寢みまでは洋裝のま丶でおいでになる、御運動はテニスと乘馬で、お相手には有馬頼寧氏の夫人が故父宮成久王の御姉妹であらせらる丶ところから、その令息令孃方がよくお見えになることもある

◇馬は故父宮が御好きであられたせいか佐和子樣も御小さい時から馬を愛せられて御常用のオーバイヤ號を巧に邸內の馬場で乘りこなされる早くも馬場の若草が萌えて暖かい春になつてくれ丶ばいと頻りにお待ち兼ねの由に承はる

焼くも焼いたり 三百萬圓の煙

京城府內の火災損害

京城は多少熱烈な寒さを防がねばならぬのに其家屋は內地式で何等防寒設備が進んで居らぬ爲めに往々火を過つ事が多いのみならず朝鮮特有の溫突が頻に火災を惹起し易く出來て居るので江戸の花と謳はれる東京の火災に比べても劣らぬ多いと思ふ程戰慄に見舞はれる。大正十一年中の損害が度數二百九十七度七十五萬三千九百六十二圓の家財を烏有に歸し十二年中は更に倍加の狀態で二百九十二度の出火に達し百六十六萬六千五百十七圓の財產を焼盡して居る。然るに十三年中は更に增加して三百五十度損害額三百萬七千四百四十九圓を算し十一年以後火災度數の增加は敢て驚く程ではないが損害額は年々增加と云ふ寒心すべき有樣である。是に對し消防機關は累年より逐年充實し十四年初頭に於ける勢力は常備消防員三十八義勇組二百十三名警防三百五十一名の消防手及び、機械類ではポンプ自動車三臺蒸汽喞筒のポンプ各一臺腕用ポンプ十三臺水管自動車八臺其他破壞自動車、梯子車、水管車、救護車梯子等新式の機械も少からず殊に近く強大なる威力を有する大型自動ポンプをも加ふる筈であるが京城が膨脹發展するに連れて火災は益々增加し消防力の充實を認めざるを得ない狀態に在り、警察部でも此の點は大いに考慮して居るが財政難の爲めに一つ丶あるもの丶如く折角消防の設備が擴張されなければならぬとて警察當局では漸次增加し消防力の充實を期して來た場合が大いに擴張して來た以上それだけの設備を以て此の點に就て今年度の四月頃から何とかなれば京城消防の充實を告ぐる事にもなるべき事にならう

泥棒巡査を 出して社會に 面目がない

馬野警察部長語る

夕刊所報、京畿道衛生課勤務巡查部長金仁燮(三〇)は二日東大門外自宅に於て鍾路署員に逮捕され同時に同衛生課長室玄關に掛けてあつたオペラバック中より盜み來れる金側懷中時計、指環、婦人用毛織肩掛等を押收され身柄は鍾路署に拘留取調べ中であるが金仁燮は大正十年以來衛生課に勤務し成績宜しく昨年九月巡查部長に進み警察行政整理の際他に轉職を命ぜられんとしたのを周防課長が特に引留めた男で、別に家計も苦しからず何故の盜みか判斷に苦しむと云はれて居る。馬野警察部長は曰く『近來一般に世道人心が荒んで來た樣に見受けるが誠に困つた者である。警察官の取締の任にある警察官が惡事をするのは寒心に堪えぬ。申譯がない次第で、今後警察官に對し精神的訓練を一層徹底せしめねばならぬ』云々

大泥棒逮捕

本町署司法係刑事等は五日午後三時頃一名の洋服姿の曲者を逮捕して本署に引揚げ更に同夜共犯と目した屆き三十才位の鮮人男一名を捕へたが事件は府內各方面を荒し廻つ

海州出初式

四日九時を期して海州警察署構內の警鐘が亂打されたので組頭以下總員五十九名の消防組員は警察署に參集し諸般の表彰授與式があつた夫れより市中を練り廻り例により梯子乘等の妙技が演ぜられ午後五時半から料亭松の家に祝宴を張り道知事郡守、警察部長を初め寺川法院長津久井郡部長其他官民間公職者海州盛況を極めた

青年會兎狩

府內南大門外五丁目青年會員八十餘名は五日午前八時居籍東小門外中山牧場裏山に至り兎狩を催し數頭の獲物を得て引上げた

青年會で鮮語教授

太平通基督教青年會では從來初等程度の朝鮮語を教授して來て居つたが今回高等科を新設し幾分素養あるもの丶爲めに教授する事となつた。毎夜普通科は六時半より高等科は七時半より授業する由。一月八日(木)より開始する由。尚は英語科各組生徒の補缺入學をも許可すと。

教會へ賊

五日午前五時頃明治町フランス教會に一名の賊忍び入り附品を窃取し逃走せんとしたが直に逮捕された賊は府內三井洞金弘萬(二〇)と云ふ前科一犯の者であつたと

京城府內の 年賀郵便

五局の統計

京城府內五郵便局に於ける本年の年賀郵便の取扱ひ狀況は一月元旦の總數二百八十一萬八千五百二十三通であつて一昨年に比して一割八分を減じ昨年よりも約一割を增加して居るが郵便の取扱は總數二百二十五萬四千二百三十三通であつて一昨年よりも二割二分を減じ又昨年よりも一割一分を增加して居ると

費消行金 一千萬圓

意外の方面へ飛火か

去る四日自首して收監された元三銀行頭取內藤傳鎌の費消した行金は一千萬圓に達し其費消した目的には憲政會の關係し居るもの多く事局の調査進行と共に意外な方面に火をみるかも知れぬと觀られて居る(名古屋電報)

平壤の 樂浪古墳

住民共謀して 盜掘する

一頃盛んに行はれた樂浪古墳の盜掘は警察の嚴重なる取締に依つて殆ど終息の有樣となつて居たが年末年始に際し警察取締の隙に乘じて平壤府外大同郡梁里の住民數名は部落內にある樂浪古墳の發掘を始め瓦數十個その他埋藏物を掘出し既に賊に贓して居ることを本署で探知し六日警官を派し調査すると共に犯人の檢擧に着手した

演藝案內

黃金館 キネマ共營 毎日晝夜 ◎一月六日より上映 大阪朝日の小阪撮影所見學 ◎現代劇 熱火 全六卷 ◎ユナイテッド、アーチスツ社提供 大喜活劇 紐育の十字街 全六卷 マツク、セネツト超特作品 ニコく大喜太 ◎時代劇 鬪 片岡仁門主演

喜樂館 京城本町一丁目 電話 ◎五日より新春第二回特別大興行 ◎傳國パテー社新作品 連續活劇 ルスローランド孃主演 ◎日活京都第一部作品 大阪朝日新聞連載講談 大衆の白藤權八郎 全六卷

白鳳夫人 ◎日活京都新劇部特作 ◎一人延一之助 全七卷

大正館 松竹共營 每日晝夜 ◎當る正月五日より ◎新派 ◎アミイリナ ◎淺草 大作品 戀の誤信 全六卷 ◎時代劇 橘正 風師 出演

中央館 東亞キネマ マキノキネマ 五日より第二回新春特別大映畫 ◎東亞キネマ甲陽特作大映畫 現代劇 ◎東亞キネマ ◎米國サンソール社特作大映畫 大百萬圓の馬を使用せる大映畫 鐵蹄千里 全七卷

浪花館 明治町 電話二六〇 ◎東亞等持院作品 ◎マキノ省三氏自身監督大作品 時代劇 或兄弟と城主 全六卷 明石潮 小島陽三 山本日出子 主演

青葉會 安來節 落語蔦蔵 出雲富士 外色々 外三十餘名の大一座

京城劇場 第四回替り藝題 新派 新薄雪物語り 清水より相原まで 前 中 むかし籠梅の由兵衛 由兵衛內の場 切 新作 常盤津道中出語り 所作事 釣り女

鈍國 產品 NITTO RECORD

定評ある ツバメ印ニツトーレコード と ニツトー號蓄音器
在庫豐富出荷迅速如何なる注文に對しても速時御間に合すべく何卒多少に不拘御用命願上候
福岡市東中洲電車通
日東蓄音器株式會社九州營業所
電話二九三一番

貳等受賞御禮
虔んで新年の御慶芽出度申納め候
陳者弊店儀今期京取市場株式賣買取引高に於て貳等賞を相受候段是偏に各位の厚き御同情の賜と感謝罷在候尚今後共倍舊一層の御引立に預り度年賀御禮以紙上右御禮旁御挨拶申述度如斯に御座候 敬具
大正十四年一月六日
京城株式現物取引市場仲買人
京城府黃金町二丁目
吉見仲買店
電話本局 一二一〇 二四三八 一三六一〇

四等受賞御禮
虔んで新年の御慶芽出度申納め候
陳者弊店儀今期京取市場株式賣買取引高に於て四等賞を相受候段是偏に各位の厚き御同情の賜と感謝罷在候尚今後共倍舊一層の御引立に預り度以紙上右御禮旁御挨拶申述度如斯に御座候 敬具
大正十四年一月六日
京城株式現物取引市場仲買人
京城府黃金町二丁目
定岡仲買店
電話本局 八二 三〇一 〇一 八九五

五等受賞御禮
虔んで新年の御慶芽出度申納め候
陳者弊店儀今期京取市場株式賣買取引高に於て五等賞を相受候段是偏に各位の厚き御同情の賜と感謝罷在候尚今後共倍舊一層の御引立に預り度以紙上右御禮旁御挨拶申述度如斯に御座候 敬具
大正十四年一月六日
京城株式現物取引市場仲買人
京城府黃金町二丁目
市川幸次郎仲買店
電話長 三 一〇 三六一〇 九七六九 三六五四番 自宅

生徒大募集 一月八日(木)午後七時始業 至急申込ミヲ要ス
鮮語科 普通科 高等科 初歩ヨリ教授ス 相當素養アルモノハタメ
英語科 各組補缺入學ヲ許可ス 最上級ヘ受驗準備者ニ適ス
太平通一丁目 青年會學校

最新結核藥 フヂリジン
肺尖加答兒 肺結核 氣管支加答兒 肋膜炎 百日咳 喘息 說明書郵呈
名古屋醫學博士創見
本劑はクレオソート及びグアヤコール劑とは異り本邦產 Composite 科植物より純粹に抽出せる主成分にて創製せる最新結核治療劑なり本劑の偉効あるは實際醫家諸彥の實證せる所にして服用後二三週日にして元氣恢復し安眠を得營養狀態佳良となり體溫降下し盜汗の輕減喀痰の消退を來し體重著しく增加す。
◇末劑 卅五瓦入 五拾瓦入 百瓦入
◇錠劑 百錠入 三百錠入 金參圓 金五圓半 金八圓
發賣元 亞細亞製藥合資會社 東京本鄕區駒込神明町
出張所 青島市馬村路七〇號
代理店 小西新兵衛商店 東京日本橋區本町
代理店 大木合名會社 東京小石川區音羽通

雲を破る (34)

山田松琴作
清水三重三畫

夢を想ふ（七）

止めやうとした喜久野はお巡査に遮られた。」

安藏は撲つて倒され、踏んで蹴られた。氣は逆つても老年の彼が壯年の莊太郎に及ぶ筈が無かつた彼は『暴行に來た』と云ふ廉で警察へ渡された。」

無事に苦しんで居る田舍の小警察では、こんな小さな事でも、天下の大事變でも起つたやうに、警官が三人も出て來て安藏を引摺つていつた。」

警察は自ら彼れを取調べた。」

莊太郎の訴へに據ると、安藏は理不盡に家內に侵入して來て、非常な暴行をしたといふのであつた。」

が、暴行した筈の安藏の體には、ぶたれ蹴られた痕の打撲傷があつたが、された筈の澤田の方には小疵一つ認められては居なかつた。犯人の數字を多くする事を職務の誇りの如く思つてゐるその署長も、事件へと事實とがあまりに相違してゐるので拍子抜けがした。」

『微罪であるから今回だけは赦してやる』」

斯ういつて署長は安藏を放つた警察へ引かれるといふその事だけが、既に非常な恐怖であつた安藏は、死刑が免訴になつたやうに喜んで、署長のお慈悲を拜んで警察を出た。」

彼れが警察を出た時、町中の人が殘らず寄つたかと思ふ程、澤山な人が集つてゐた。それが皆、興を遷べす大罪人でも見るやうに好奇に緊張した顔で耳語し合つて警察を覗いてゐたのであつた。」

其處へ安藏が繩もかけられず、單獨でヒヨリと出た。と見た群衆は一齊に斷層みを作つたサッと左右へ開いて安藏の通る路を開いた」

彼れは我家へ歸ると直ぐ、上がり口にバタリと倒れた。今まで張りつめてゐた氣がゆるむのと共に激しい痛みを總身に感えたのであつた。」

彼れは倒れたまゝで、苦しさうにうめいてゐた。」

隨分と時が經つた。」

漸く醉を歸に彼れは、這つて土藏の火鉢の傍へきた。取つてゐた土瓶の口からさめきつた茶を一口飲んで、ホッと長い息をした。」

鐵のよつた彼れの顔に涙が傳つてゐた。莊太郎に思ひの儘にされた事が口惜くてならなかつたのだ『畜生ッ。畜生ッ』と、唸るやうにいつた。そして崩れるやうに横に倒れた。」

入口の柱に縋るやうにして入つたのは喜久野であつた。」

人の氣配に安藏は顔をあげた。」

『や、喜久野樣だか』」

『安藏……』喜久野はよろけるやうに上がり口に來て『私は……』といひかけて泣き入つた。」

『どうしたよ？』安藏は揃む聲を起した。」

喜久野は泣いて口が利けなかつた『どうしたよか』安藏は、はひ寄つた。」

『……私は、家を、追ひ出されて……』」

『追ひ出された？』」

『安藏が、理窟をいひにきたのは、お前が安藏に吹込んで、指圖したのに違ひない。お前は、姉夫婦を敵にするッて……』」

『莊太郎樣がいつたよか？』」

『姉樣と二人で云つて、私に含容してゐながら、恩を知らない、義理をしらないッて……』」

『そんな事をぬかすだか』」

『お前は、安藏の世話になるやうに、お亡父樣の遺言があるさうだ折角の遺言を反いてはお亡父樣に濟むまい。今から安藏の世話になるがよいだらうつて、安藏の家へ行つて私が、何と云つてもきかないで、どうしても出ろといふんです』」

『遂う〳〵追だしやがつたな』」

『私は、どうする事もできなくて……』」

『病氣のおめへ樣を追だして、その日、食ふものもねえ俺が許へ突きつける……彼奴等あ人間ちやねえ。畜生。いや、鬼だあよ。何あに、心配はねえだ。俺だつて働きやあ、お前樣に飽えさすやうなこたあしねえだ。此の通り狹くつて汚ねえだが、遠慮と氣兼はいらねえだ。辛抱してゐてくらつせえ。俺、大旦那に恩報しするちう所もりで、働いてお前樣を飼ふだから……然し、お前樣の衣類だの、飾り物なんかゞあるだんべえ。それ皆、どうさつしやつたよ？』」

『みんな姉樣が預かるつて、仕舞つたきり與れないんです。今も歸つてきたけど、お前から預かつたものなんか、些ともないつて』」

『その木綿一枚着のまゝで放りだしやがつたよか……』」

京日文苑 投稿募集

短歌 題 父 尾上柴舟選
俳句 題 新年雜詠 內藤鳴雪選
川柳 題 看板 阪井久良岐・剣花坊選
締切 一月二十日（各種共）
賞金 天一圓半、地一圓、人半圓
注意 一題一人三句、各題別紙用紙葉書、雅號住所明記、京城日報社『京日文苑』係の事
其他各地會報歡迎

春海のやうに

佐川信一

私は もう 物を云はない
かりそめの
只一言のために 投身した乙女の
悩い魂から 滴る
生々しい血のりを 舐め 夜 夢みる
友よ 若き友よ
眉を顰めて 君は呪つてゐる
ひと度 出でゝ
蝶のやうに執拗く うるさく
たらき
いつかと つながり合つた心と
心を
苦もなく離し 白々しくした
言葉の過誤を
尖つた感情を 沈默にやはらげ
わたしは
陽にきらめく 春海のやうに
總ての上に
限くゆたかに 微笑の手を 伸ばさう

新刊紹介

▲變態心理（二月號）五十錢、東京品川御殿山、日本精神醫學會、▲卓球研究（新年號）五十錢、大阪府西成郡玉出町 其社、▲蒼鷺之友（一月號）卅八錢 名古屋市南區瑞穗町、其社 ▲電氣旬報（新年號）卅錢、大阪市北區若松町 電氣社、

▲朝鮮で行はれる專賣局期間豫約及び續き用紙は何所で下さるでせうか。（鐵受驗生）▲○○學に滿州より狂犬二疋來たり斃鼠を食べて困るからと皆んな泣いて居るさうです今に小犬が澤山阿片を飲みますよ（見維生）▲田舍生樣御のステッキは本町二丁目元町行パイプは本町二丁目鐵道官舍前構内雜誌は本町二丁目海市商會にあります（成田生）▲二十六日明用洋傘一本御忘れの方は驛前にお預かりしてあります（本町二丁目井上雨物店）

謹賀新年

晉州公立尋常高等小學校長 西畑定治

密陽城內 島津合名商行

密陽城內 難波福一

慶尙南道蠶業取締所密陽支所 國定喜一

龜浦 朝鮮製紙株式會社

龜浦 池本豊輔

龜浦驛前 龜浦金融組合 理事 增田貞

密陽驛前 下郡旅館

密陽 鹽見源太郎 中村孫助

密陽城內 密陽自動車株式會社

密陽財興株式會社 專務取締役 本間保治

密陽 密陽郡酒造同業組合

密陽驛前 丸山多嘉登

京元線鐵原邑內 中央水利指定旅館 長崎屋旅館 電話百〇九番

金剛山電氣鐵道株式會社 朝鮮中央水利組合鐵原指定旅館 京元線鐵原 山口屋旅館 電話三五番

京元線鐵原邑內 帝國公債株式會社代理店 日之出旅館 主 安倍調吉 電話五五番

京元線鐵原旭町 西谷國藏 電話二十四番

京元線鐵原邑內 警察署公醫 諏訪等 電話二十五番

鐵原驛前 和洋菓子卸問屋 福野屋 電話百三十三番 振替京城九六七二番

万木商店 万材木部 月井里生產組合運送部 京元線驛構內 万木喜太郎

京元線鐵原驛前
金剛山電氣鐵道株式會社
電話十番・同十一番

京元線鐵原邑內 割烹御料理 廣島屋 電話二十六番

鐵原郡廳 職員一同

株式會社殖產銀行鐵原支店 三島武男 電話十二番

京元線鐵原邑內 割烹御料理 柳屋 電話一二九番 藝妓 要 琴次 呂昇 太郎 笑太郎 花房 小金 春美 仲居とも

京元線鐵原本町 度量衡器委托販賣所 日鮮雜貨 キリンビール 白鶴酒特約店 米田佐次郎商店 電話三十六番 振替京城五五八二

京元線鐵原邑內 賀陽材木店 電話百二十九番

鐵原煙草元賣捌組合 組合長 小宮山八郎 幹事 土田源次郎 監査役 小川半次 同 原田政樋

京元線鐵原邑內 食料品 雜貨 生魚 八百岩商店 電話五十八番 振替京城九九六七番

謹賀新年
東洋拓殖株式會社
資本金五千萬圓
東京市麹町區有樂町一丁目一番地

京元線鐵原 不二農場株式會社 藤本久平 電話十七番

鐵原面 職員一同

釜山消防組頭 小宮山萬次郎

福榮商會卸部 釜山榮町二丁目

福榮商會小賣部 釜山辨天町二丁目

釜山海運業組合（いろは順）
朝鮮郵船株式會社釜山支店
大阪商船株式會社釜山支店
株式會社大池回漕店
內國通運株式會社釜山支店
株式會社釜山商船組
國際運送株式會社釜山支店
株式會社澤山兄弟商會

釜山 金曜會

釜山 大池本店

京元線鐵原驛前 鐵原組運送部 店主 上坂宇八 電話四〇番・振替京城九三七三番

鐵原旭町 和洋御料理 生そば仕出し 精養軒 電話五十一番

鐵原驛前郵便所長 池泰觀

歐米雜貨 五番館洋品店 電話二一四番

釜山寶水町 山川定

東萊 安井重喜

釜山草梁驛前 三重浴巾商會

釜山埋立新町 合資會社 大池回漕店 電話長一一三番 電話長六五三番

釜山府大廳町二丁目 篠崎洗布所 電話九四〇番

釜山府寶水町三 横江川鐵工所 電話六三三番

百濟病院 院長 崔錫海

釜山埋立新町 大池商店 機械部

釜山精米業組合

ライジングサン石油會社專屬 大門票 立石洋蠟工場 釜山富平町四丁目 電話一二二五番

釜山 大山儀一

鐵道省公認 滿鐵承認 **釜山運送業同盟會**

釜山 迫間房太郎

釜山木材商組合

釜山商業會議所 會頭 香椎源太郎

釜山府榮町二丁目 電機商 合資會社 弘中商會 電話長一九三九番 電話一九〇二番 振替京城七四〇九番
代表社員 弘中良一 營業部員 森本藤馬 同 天方爲平 同 難波春夫 同 井上益 同 杉村宗兵 同 大須賀陸太郎